

福井市ひとり親家庭自立促進計画

令和2年3月

福 井 市

目 次

■ 第1章 計画の基本	
1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画の期間	1
3. 計画の対象	1
4. 計画の位置付け	1
5. 計画策定経過	1
6. 計画の推進体制	1
■ 第2章 ひとり親家庭の実態	
1. ひとり親家庭の世帯数	2
2. 離婚件数	2
3. 児童扶養手当受給者数	3
4. ひとり親家庭の現状	4
■ 第3章 ひとり親家庭自立支援の基本的方針	
1. 基本理念	19
2. 施策の基本的な方針	19
3. 施策の体系	20
■ 第4章 具体的施策の展開	
1. ①子育てや生活支援の推進	22
2. ②就業支援の推進	24
3. ③養育費の確保及び面会交流に関する取り決めの推進	26
4. ④経済的支援の実施	27
5. ⑤情報提供・相談体制の充実	28
■ 資料編（令和元年度福井市ひとり親家庭実態調査）	
調査概要・結果一覧	

第1章 計画の基本

1. 計画策定の趣旨

福井市の離婚件数は、近年減少していますが、近年の家庭環境の変化に伴い、ひとり親家庭が増える傾向にあります。

ひとり親家庭の親は、子育てと生計を母又は父がひとりで担わなければならないことから、様々な困難に直面するとともに、子どもにも精神面や経済面で大きな影響が及びます。

このことから、ひとり親家庭等の自立を図る就労支援、生活支援、経済的支援などの総合的な支援の推進が求められています。

福井市では、すべての子どもの健やかな育ちと保護者の親としての成長を支援する社会の実現を目指すことを目的に「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、施策を展開しています。

この施策とも連携し、ひとり親家庭等の生活状況を把握するため、令和元年8月に「ひとり親家庭等実態調査」を実施しました。この調査結果を元に、ひとり親家庭を取り巻く環境やニーズに配慮しながら自立を促進するため、ひとり親家庭等に対する施策を総合的に推進する目的で「福井市ひとり親家庭自立促進計画」を策定するものです。

2. 計画の期間

令和2年度～令和6年度の5年間とします。

3. 計画の対象

この計画は、福井市内の次の家庭を対象とします。

- ◎ 母子家庭：母と20歳未満の児童がいる世帯（同居の親族がいる場合を含む）
- ◎ 父子家庭：父と20歳未満の児童がいる世帯（同居の親族がいる場合を含む）
- ◎ 寡婦家庭：かつて母子家庭の母であって、子が成人し、現在も配偶者のいない状態にある方

4. 計画の位置付け

この計画は、母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づく基本方針に即して作成した「自立促進計画」です。本市の「福井市総合計画」及び「福井市地域福祉計画」を上位計画とし、「福井市子ども・子育て支援事業計画」との連携を図っています。

5. 計画策定経過

この計画は、学識経験者やひとり親家庭の代表などの関係者で構成する「福井市社会福祉審議会児童福祉専門分科会」での議論やパブリックコメントを参考に策定しています。

6. 計画の推進体制

施策の実施状況について上記の児童福祉専門分科会に報告し、その意見等を踏まえ施策内容の見直し・改善を行い、計画や施策を円滑に推進します。

第2章 ひとり親家庭の実態

1. ひとり親家庭の世帯数

国勢調査によると、平成27年10月1日現在の本市の母子世帯（他の世帯員がいる世帯を含む）は2,086世帯、父子世帯（同）は388世帯で、母子または父子世帯が全世界帯に占める割合は2.48%となっています。

平成22年と比べると、世帯数、世帯割合ともにほぼ横ばいになっています。

本市の母子家庭・父子家庭数の推移

単位：世帯

	平成22年	平成27年
母子世帯	2,039 世帯	2,086 世帯
父子世帯	402 世帯	388 世帯
合計（A）	2,441 世帯	2,474 世帯
全世界帯数（B）	97,236 世帯	99,623 世帯
世帯割合（A/B）	2.51%	2.48%

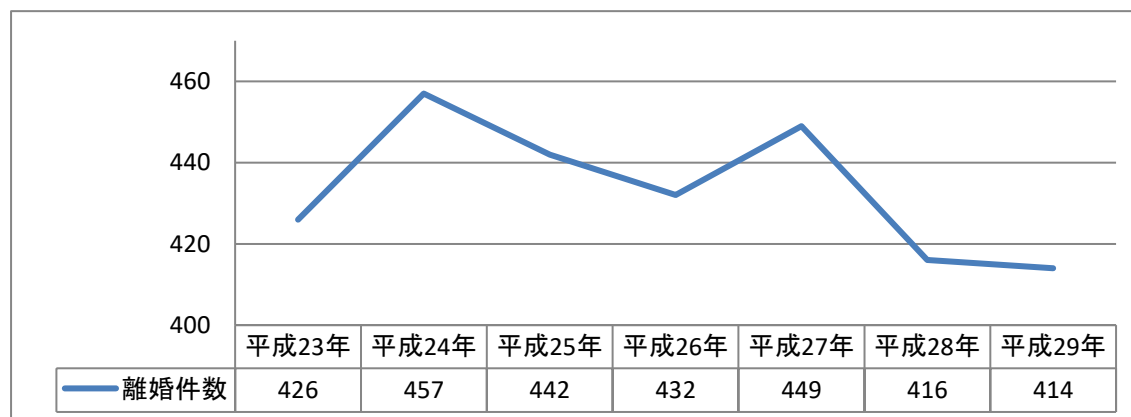
【出典】国勢調査 調査日10月1日

2. 離婚件数

離婚件数は平成27年に増加しているものの、平成28年以降はほぼ横ばいになっています。

本市の離婚件数

単位：件



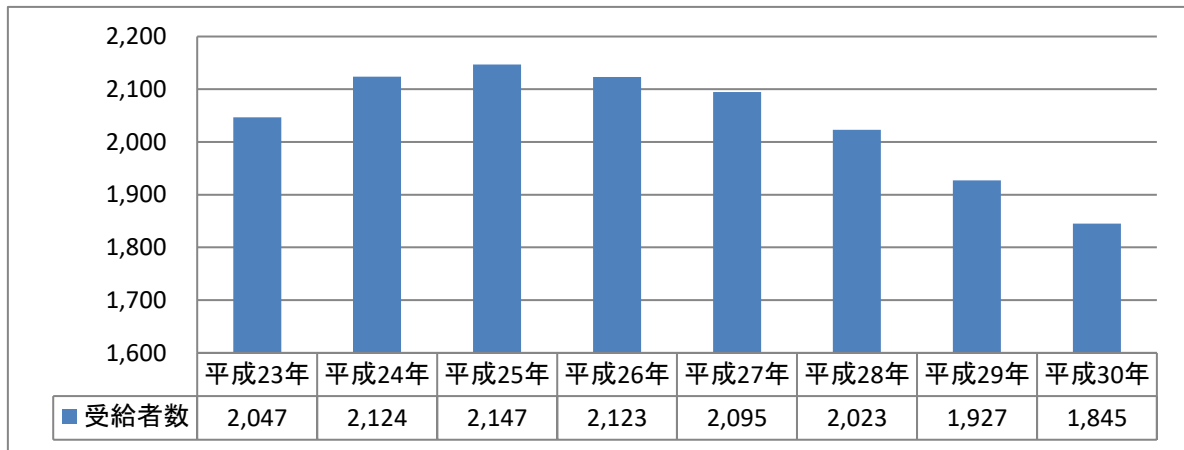
【出典】人口動態統計

3. 児童扶養手当受給者数

本市の児童扶養手当受給者数は、平成25年の2,147人をピークに減少しており、平成30年は1,845人となっています。

また、児童扶養手当認定世帯の世帯類型では、平成30年度は、離婚世帯が最も多く83%となっており、その次が未婚世帯の12%となっています。

■児童扶養手当受給者数



【出典】市子ども福祉課 調査日：毎年3月31日

■児童扶養手当認定世帯の世帯類型

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	世帯	%	世帯	%	世帯	%
離婚	1,683	83%	1,587	83%	1,526	83%
死別	23	1%	21	1%	16	1%
未婚	230	11%	234	12%	224	12%
障害	16	1%	20	1%	19	1%
その他	71	4%	65	3%	60	3%
計	2,023	100%	1,927	100%	1,845	100%

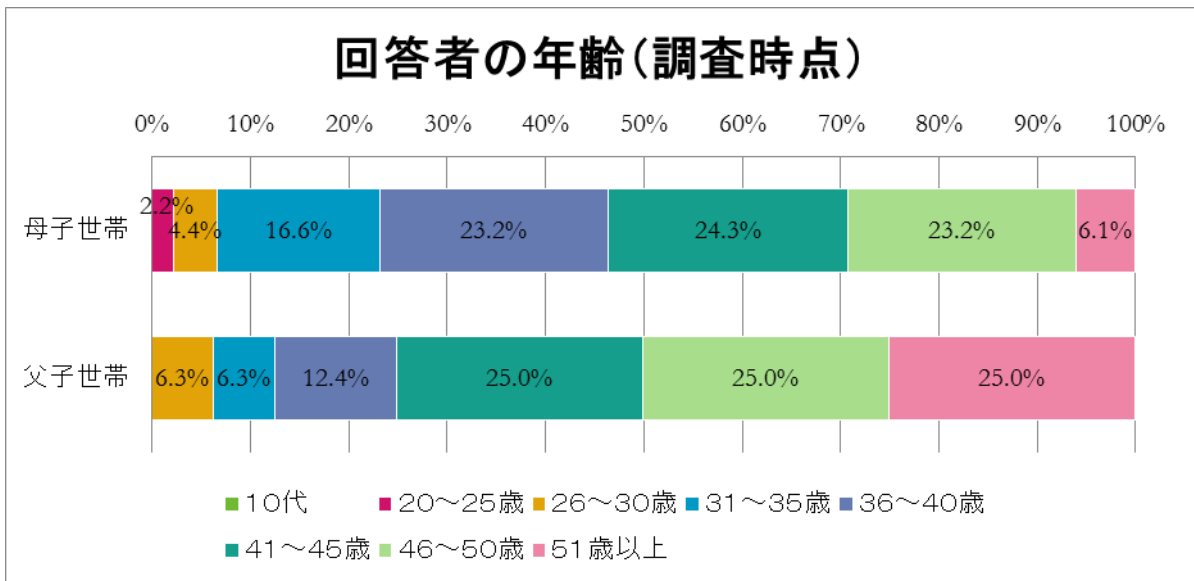
【出典】市子ども福祉課 調査日：毎年3月31日

4. ひとり親家庭の現状 〈出典〉「令和元年度福井市ひとり親家庭実態調査」

(1) 年齢・家族構成・居住状況

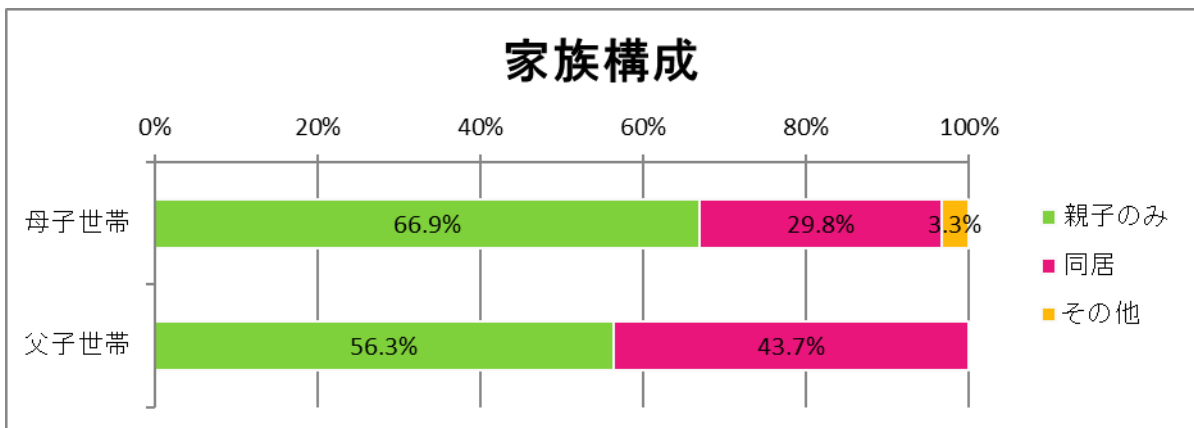
〈年齢構成〉

- 母子世帯の母の年齢構成は、31～35歳が16.6%、36～40歳が23.2%、41～45歳が24.3%、46～50歳が23.2%となっています。
- 父子世帯の父の年齢構成は、41～45歳が25.0%、46～50歳が25.0%、51歳以上が25.0%となっています。



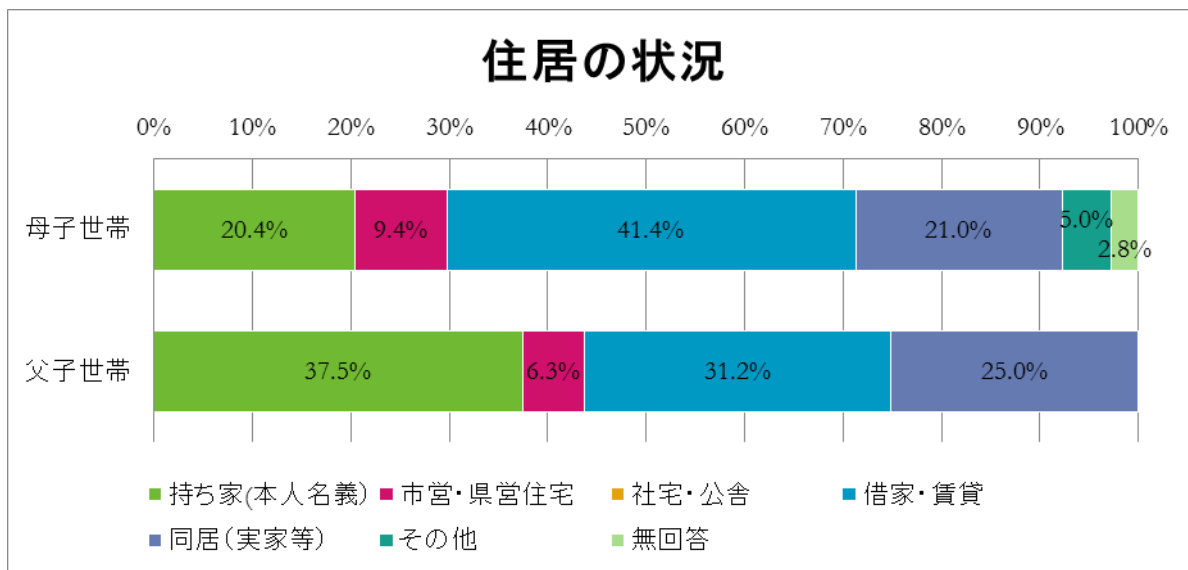
〈家族構成〉

- 母子世帯の家族構成は、母子のみの世帯が66.9%、実父母等との同居世帯が29.8%となっています。
- 父子世帯の家族構成は、父子のみの世帯が56.3%、実父母等との同居世帯が43.7%となっています。



＜住居の状況＞

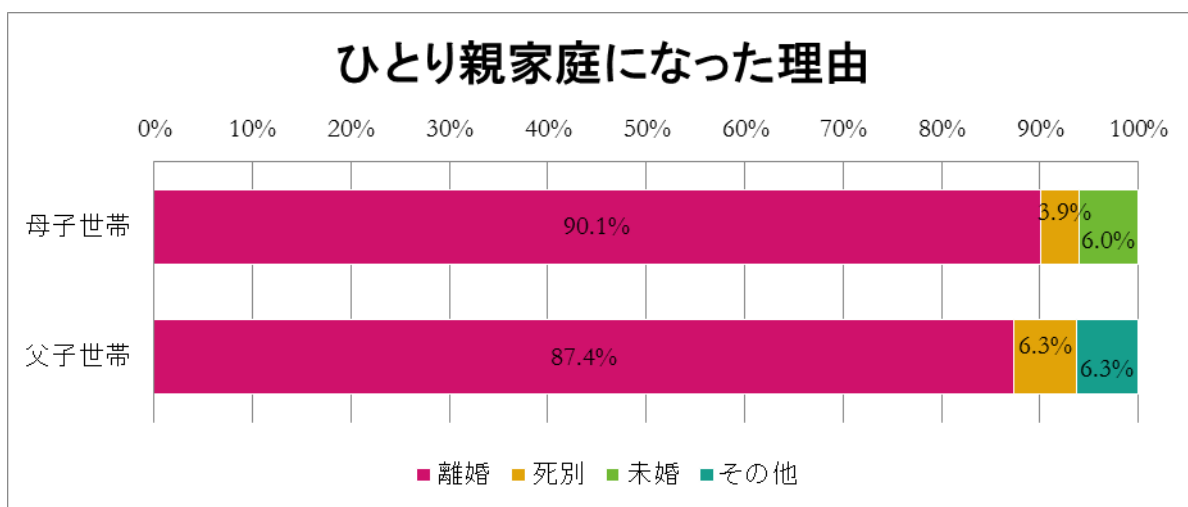
- 母子世帯の住居の状況は、借家・賃貸が41.4%と最も多く、次いで同居（実家等）が21.0%、持ち家（本人名義）が20.4%、市営・県営住宅が9.4%となっています。
- 父子世帯の住居の状況は、持ち家（本人名義）が37.5%と最も多く、次いで借家・賃貸が31.2%、同居（実家等）が25.0%、市営・県営住宅が6.3%となっています。



(2) ひとり親になった時の状況

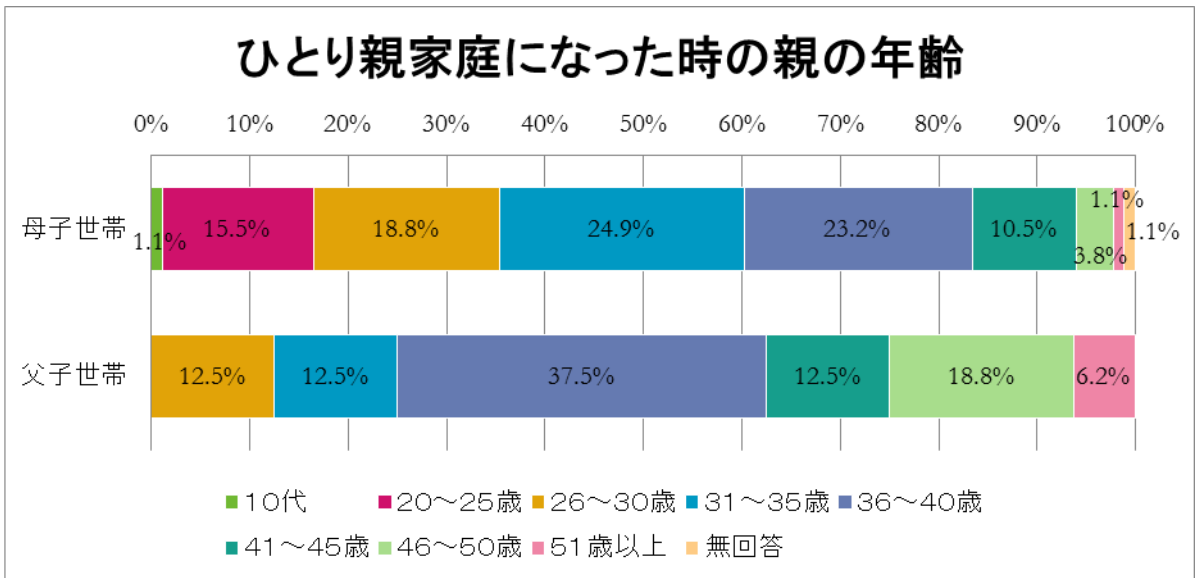
＜ひとり親になった理由＞

- 母子世帯になった理由は、離婚が90.1%と最も多く、死別が3.9%、未婚が6.0%となっています。
- 父子世帯になった理由は、離婚が87.4%と最も多く、死別・その他が次いで6.3%となっています。



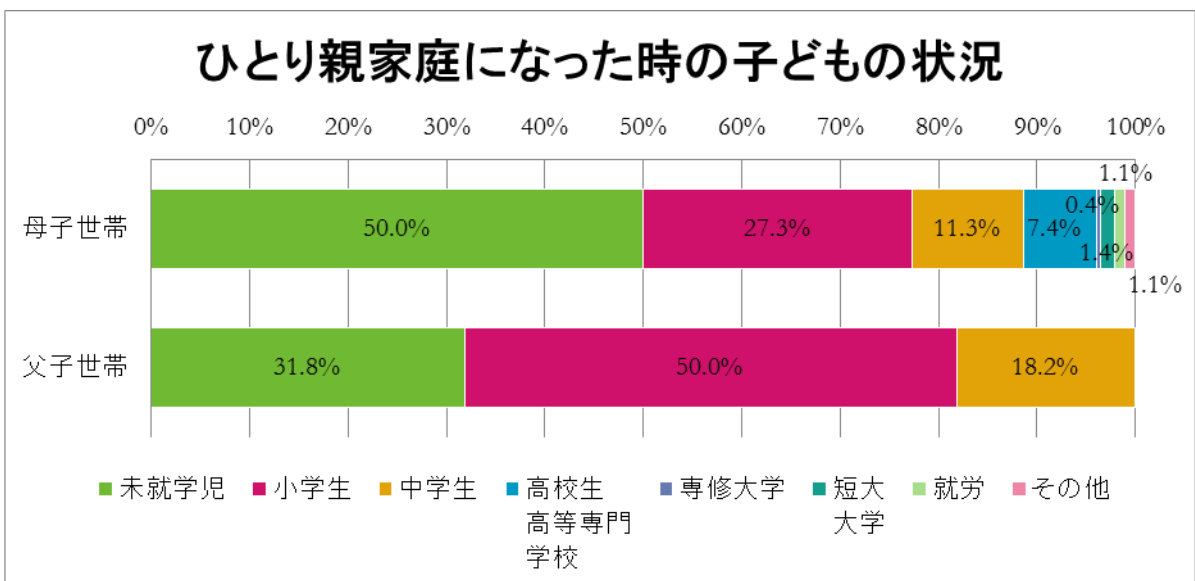
<ひとり親になった年齢>

- 母子世帯になった時の母の年齢は、31～40歳が48.1%と最も多く、次いで20～30歳が34.3%となっています。
- 父子世帯になった時の父の年齢は、31～40歳が50.0%と最も多く、次いで41～50歳が31.3%となっています。



<ひとり親になった時の子どもの状況>

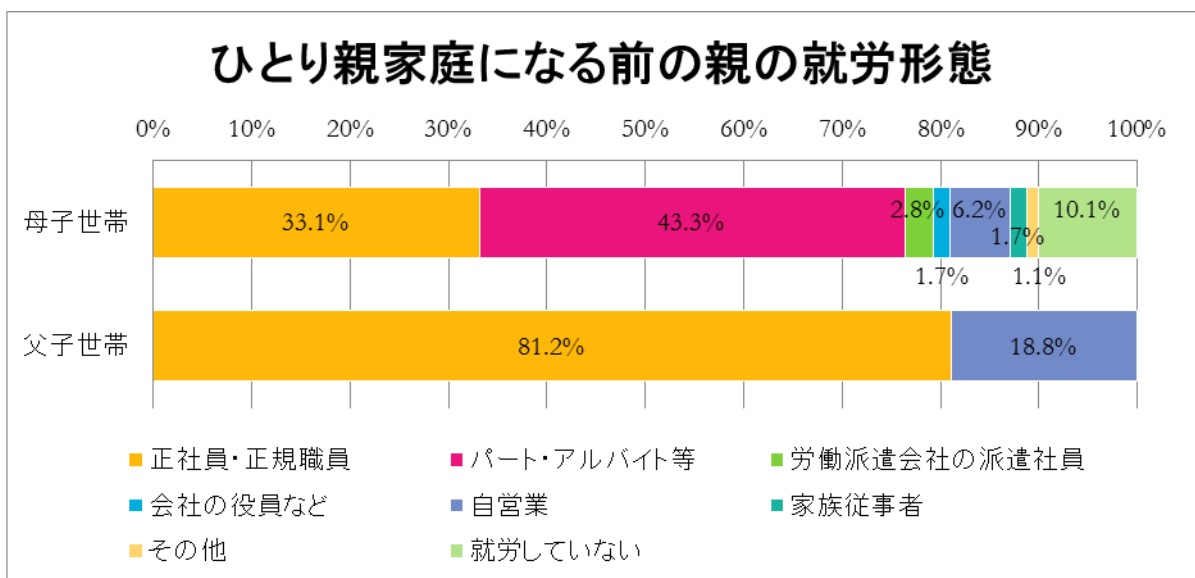
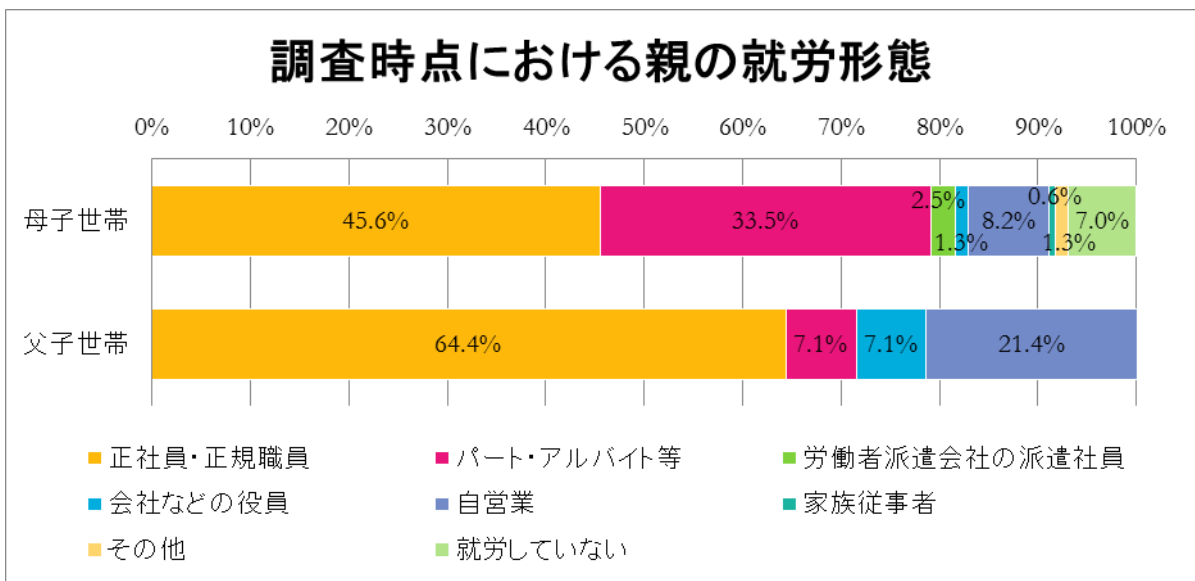
- 母子世帯になった時の子どもの状況は、未就学児が50.0%、小学生が27.3%、中学生が11.3%となっています。
- 父子世帯になった時の子どもの状況は、未就学児が31.8%、小学生が50.0%、中学生が18.2%となっています。



(3) 就業状況・収入状況

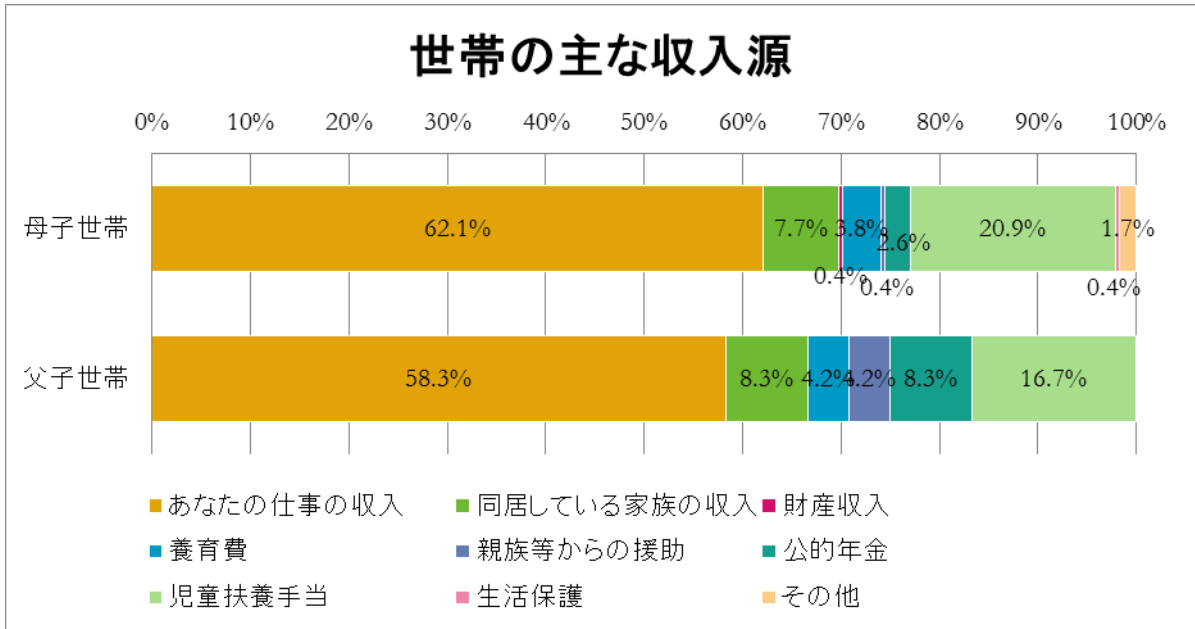
<就業状況>

- 母子世帯の母は、93.0%が就業しており、母子世帯になる前に就業していたのは89.9%となっています。
現在の就労形態は、正社員・正規職員が45.6%、パート・アルバイト等が33.5%となっています。
- 父子世帯の父は、現在もひとり親になる前も100%が就業しています。
現在の就労形態は、正社員・正規職員が64.4%、次いで自営業が21.4%となっています。



<ひとり親世帯の収入源>

- 母子世帯・父子世帯の主な収入源は、「自身の就労収入」が最も多く約6割で、ついで「児童扶養手当」が約2割となっています。

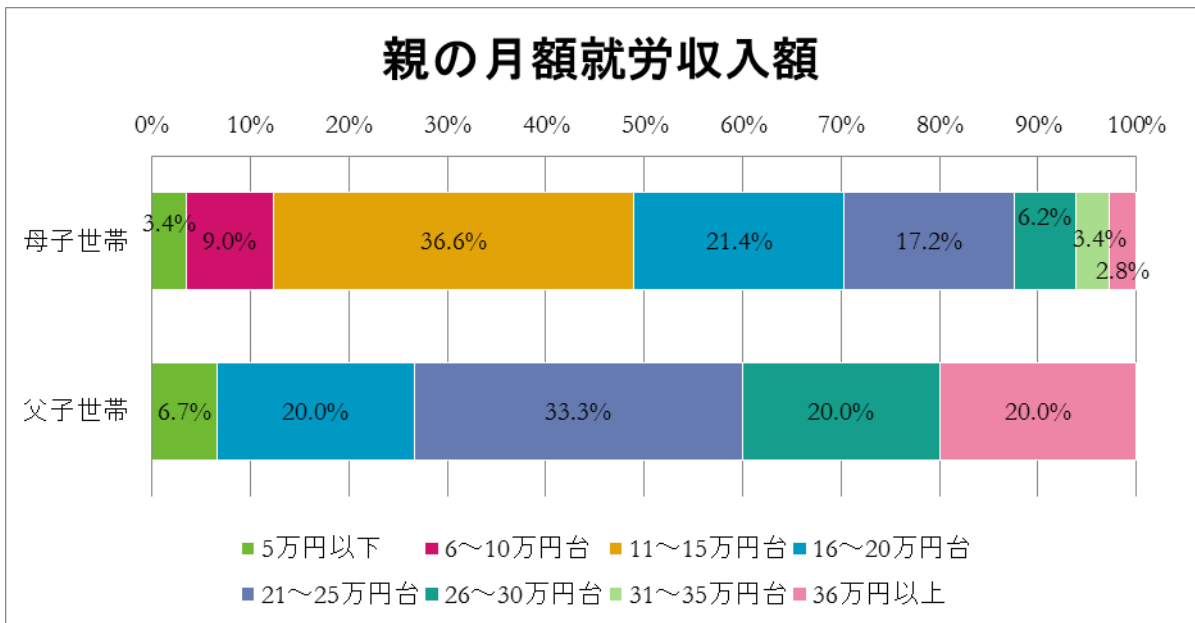


<月額就労収入>

- 母子世帯の母自身の月額就労収入は、20万円以下が70.4%となっています。
- 父子世帯の父自身の月額就労収入は、30万円以下が80.0%となっています。

《参考》2018年の福井県の平均月額給与 女性：23万円 男性：33万円

※厚生労働省発表「賃金構造基本統計調査」から算出

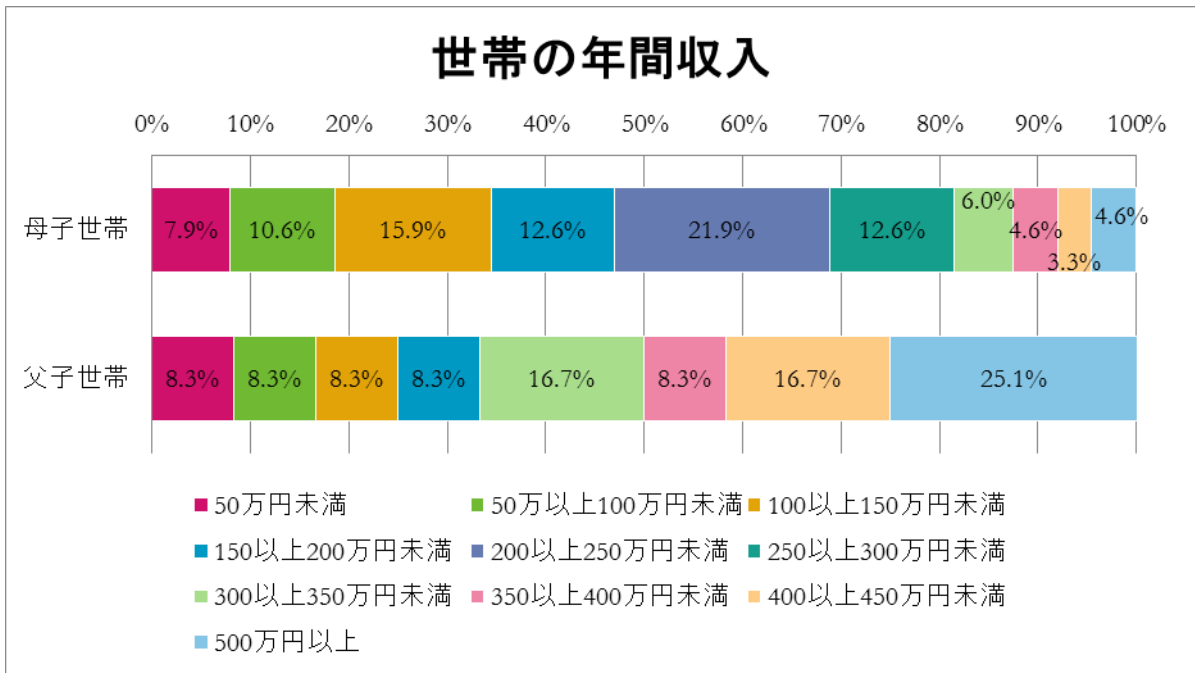


<年間収入>

- 母子世帯全体の年間収入は、300万円未満が81.5%となっています。
- 父子世帯全体の年間収入は、400万円未満が58.2%となっています。

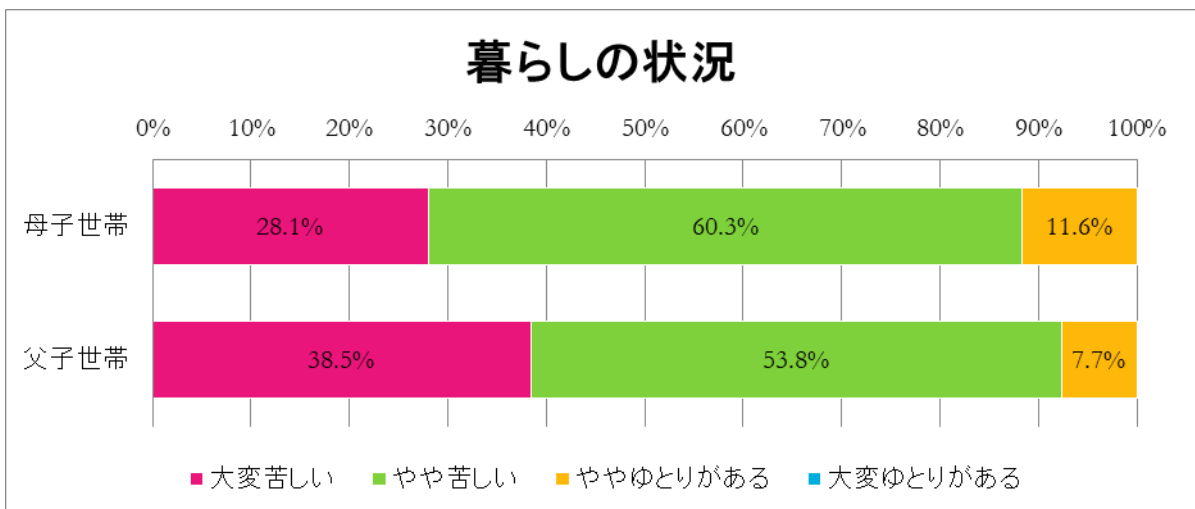
《参考》2018年の福井県の平均年収 女性：341万円 男性：488万円

※厚生労働省発表「賃金構造基本統計調査」から算出



<暮らしの状況>

- 現在の暮らしの状況を「大変苦しい」または「やや苦しい」と感じているのは、母子世帯で88.4%、父子世帯で92.3%となっています。

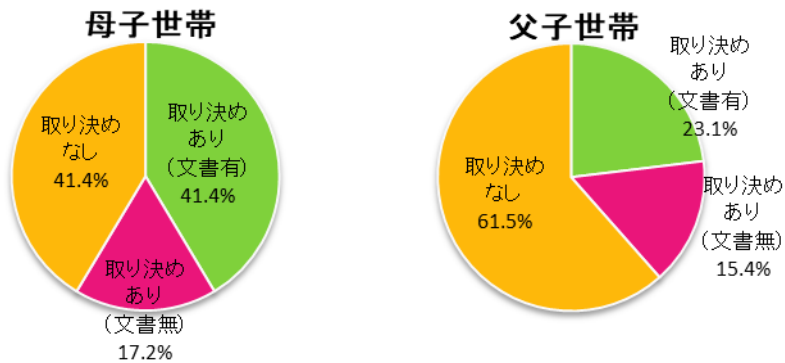


(4) 養育費・面会交流

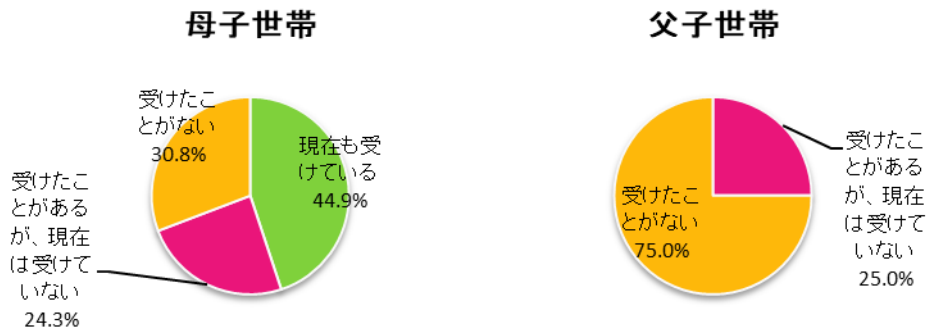
<養育費>

- 離婚・未婚の母子・父子世帯のうち、養育費の文書による取り決めがあった母子世帯は41.4%、父子世帯は23.1%となっています。
- 取り決めをしなかった理由は、母子世帯は「相手と関わりたくないから」が最も多く、父子世帯は「相手に支払う意思がないと思ったから」「相手に支払う能力がないと思ったから」が上位を占めています。

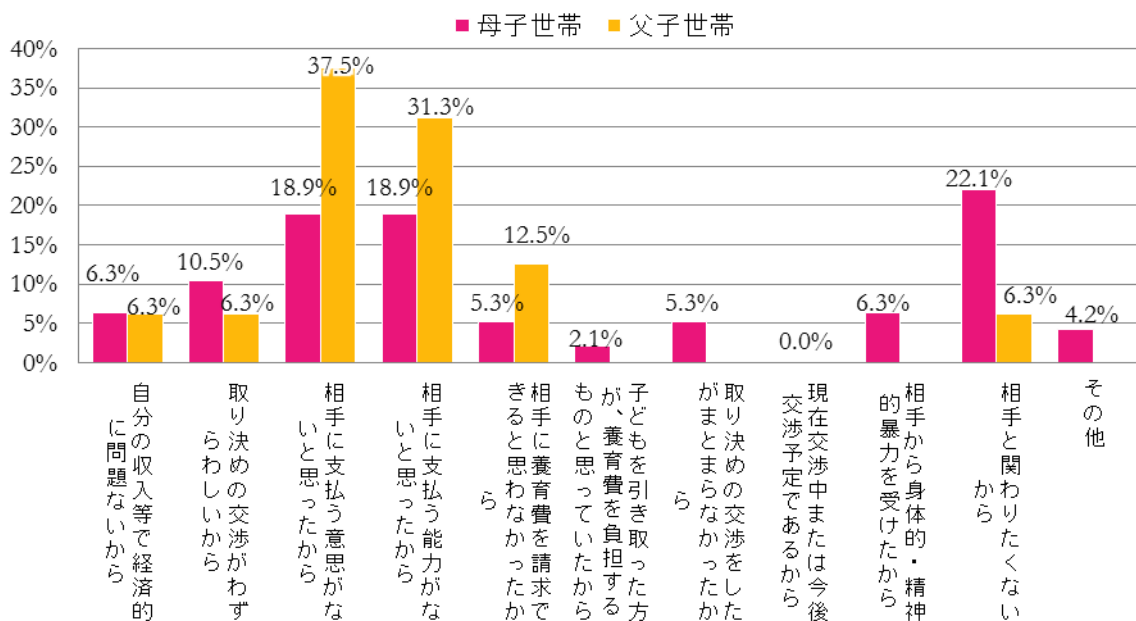
養育費取り決めの有無



取り決め有のうち養育費の受給状況



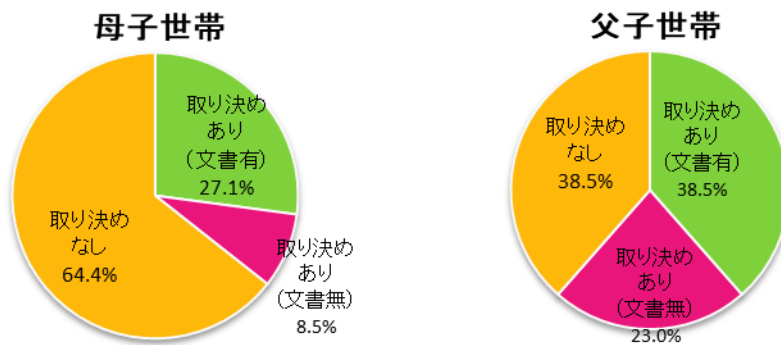
養育費の取り決めをしなかった理由(複数回答)



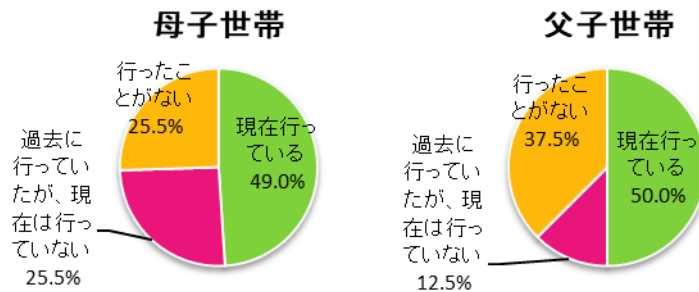
＜面会交流＞

- 離婚・未婚の母子・父子世帯のうち、面会交流の文書による取り決めがあった母子世帯は27.1%、父子世帯は38.5%となっています。
- 取り決めをしなかった理由で上位を占めているのは、母子世帯は「相手が面会交流を求めてこないから」や「相手が養育費を支払わないから」で、父子世帯は「子どもが会いたがらないから」や「子どもが精神的又は身体的に不安定になるから」となっています。

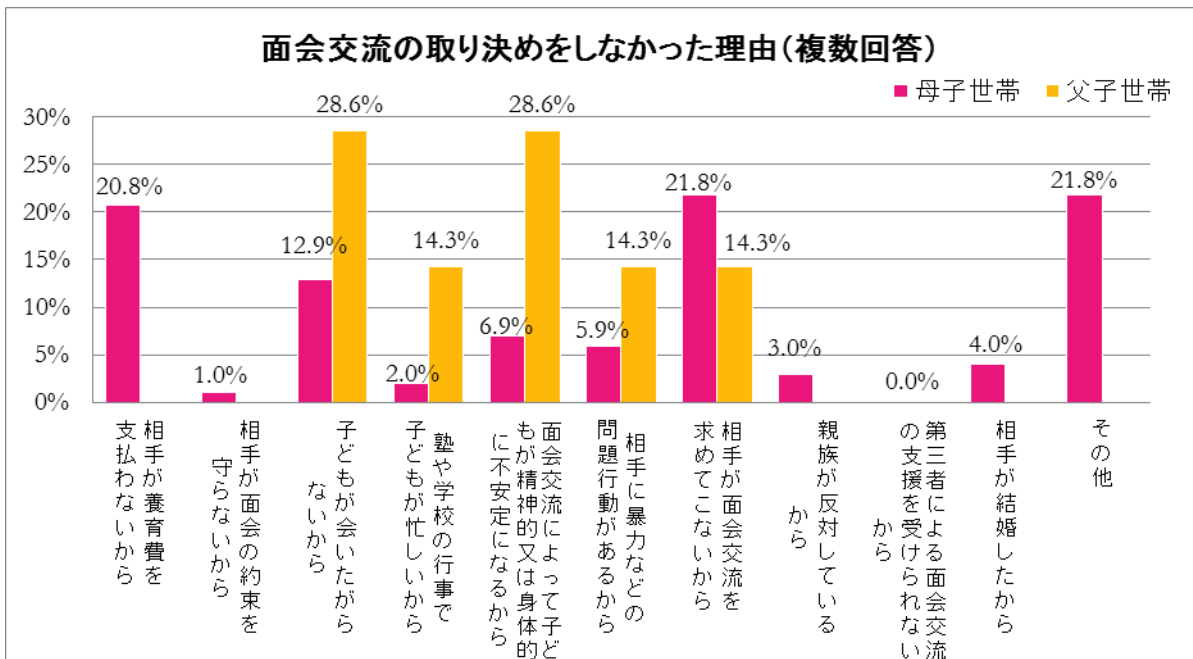
面会交流の取り決めの有無



取り決め有のうち面会交流の実施状況



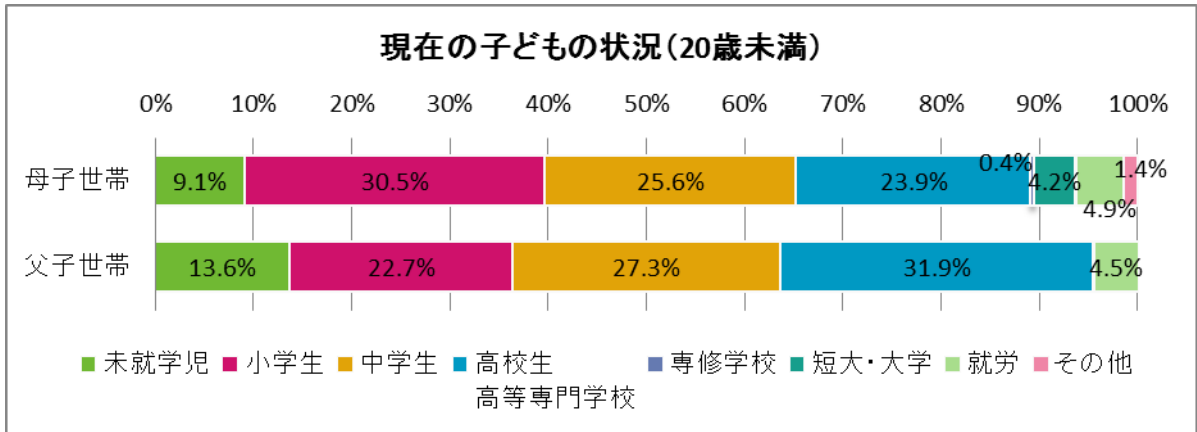
面会交流の取り決めをしなかった理由(複数回答)



(5) 子どもに関する状況

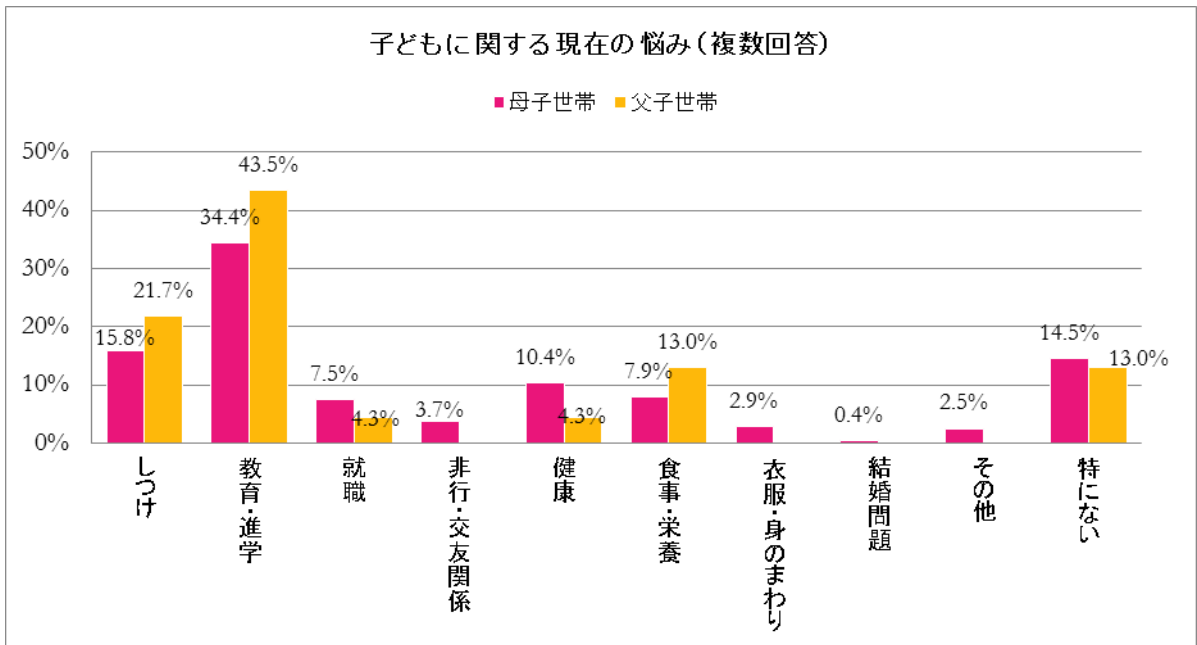
<現在の子どもの状況>

- 調査時点の母子世帯の子どもの状況は、小学生が一番多く30.5%、次いで中学生が25.6%となっています。
- 調査時点の父子世帯の子どもの状況は、高校生・高等専門学校生が一番多く31.9%、次いで、中学生が27.3%となっています。



<子どもに関する悩み>

- ひとり親世帯の子どもに関する現在の悩みは、母子・父子世帯ともに「教育・進学」が最も多く、次いで「しつけ」が多くなっています。



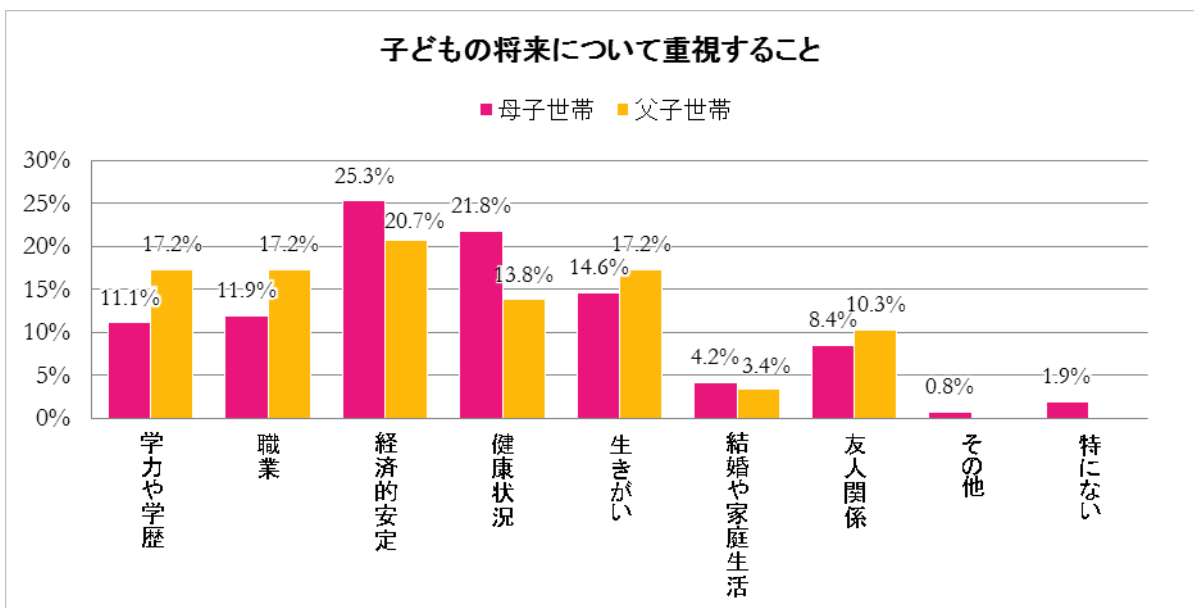
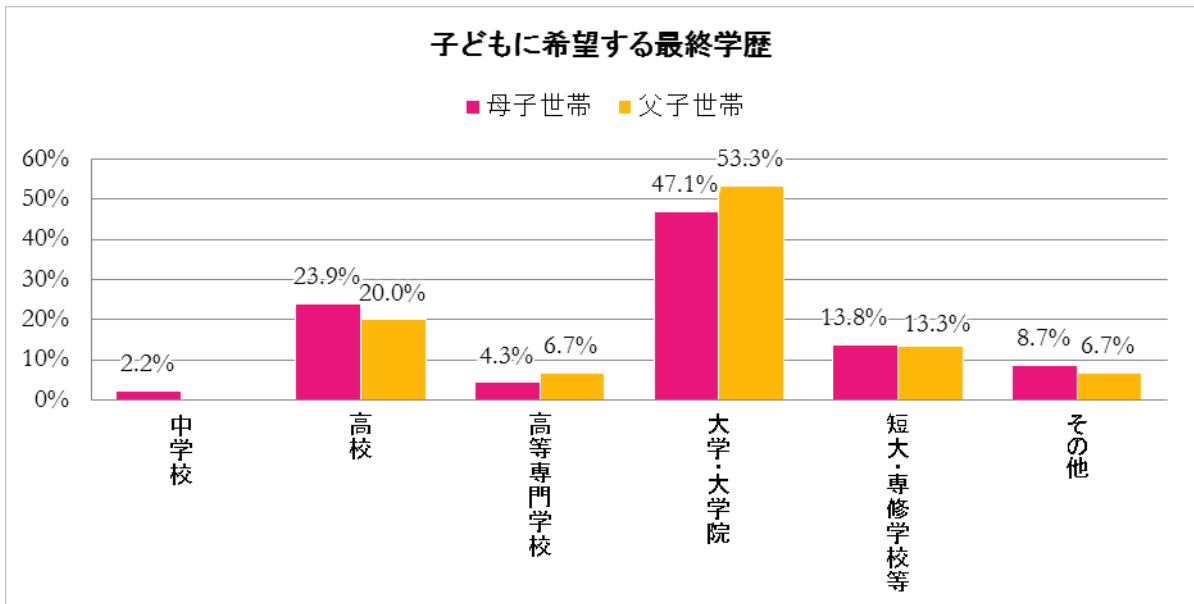
<子どもの将来への希望>

- 子どもに希望する最終学歴は、母子・父子世帯ともに「大学・大学院」が最も多く、母子世帯が47.1%、父子世帯が53.3%となっています。

《参考》子どもの進学率 ひとり親世帯 高校等：93.9% 大学等：23.9%
 全世帯 高校等：96.5% 大学等：53.7%

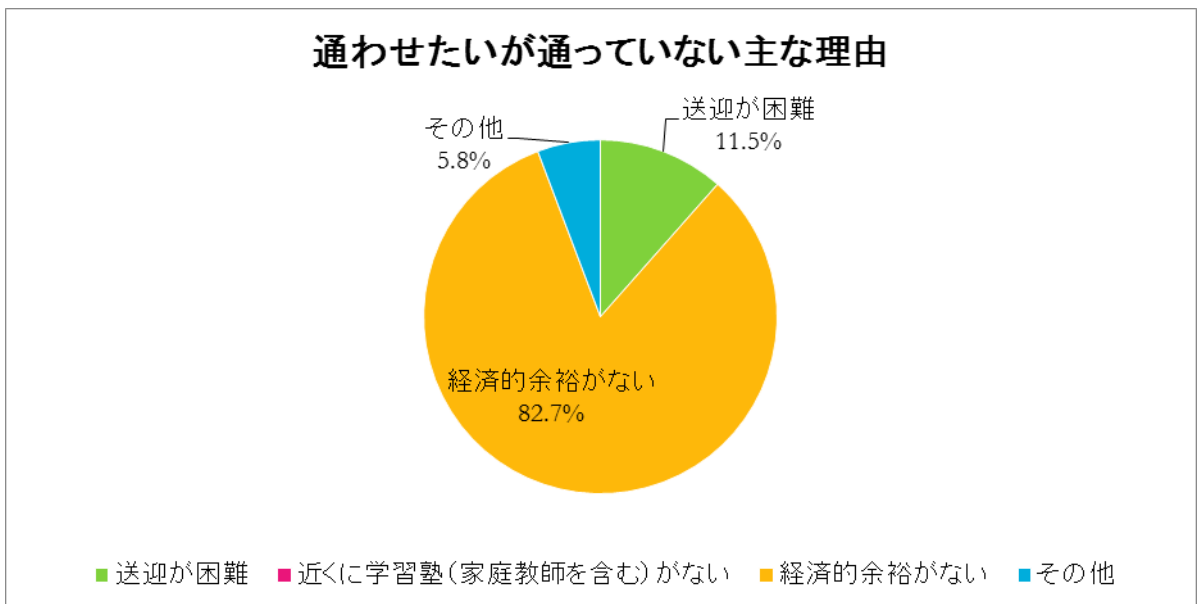
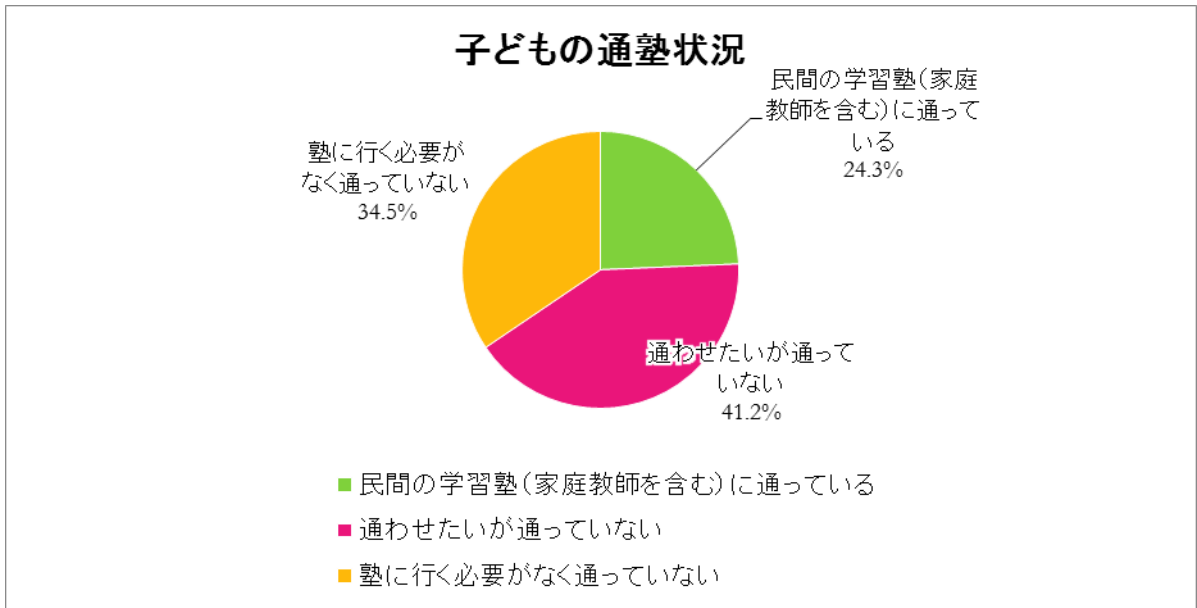
【出典】平成23年度全国母子世帯等調査、平成26年度学校基本調査

- 母子世帯の母が子どもの将来について重視することは、「経済的安定」が最も多く25.3%となっており、次いで「健康状況」が21.8%、「生きがい」が14.6%となっています。
- 父子世帯の父が子どもの将来について重視することは、「経済的安定」が最も多く20.7%となっており、次いで「学力や学歴」「職業」「生きがい」が17.2%となっています。



<子どもの通塾状況>

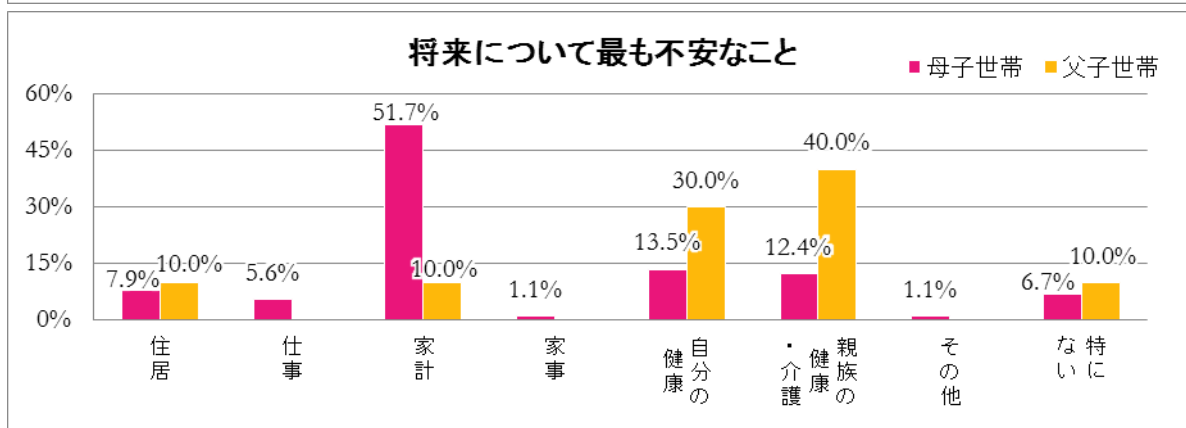
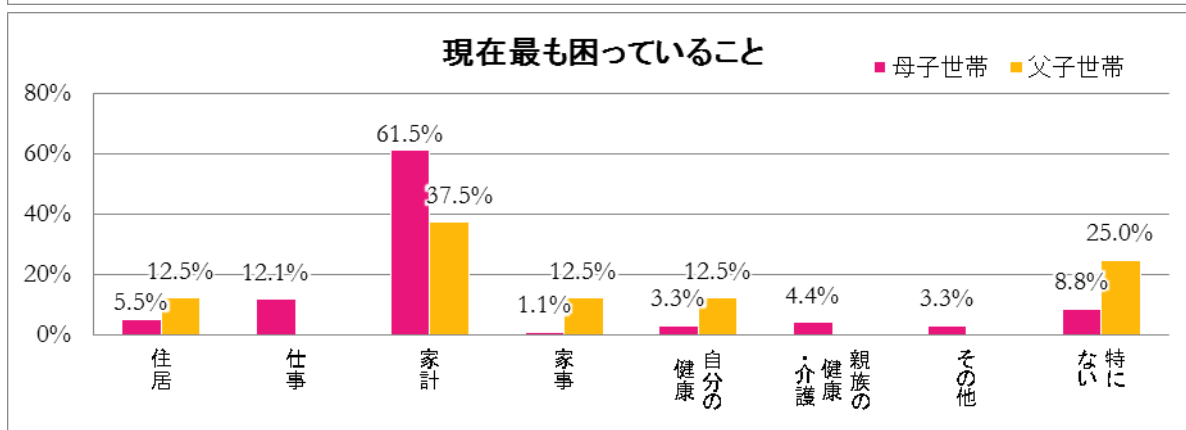
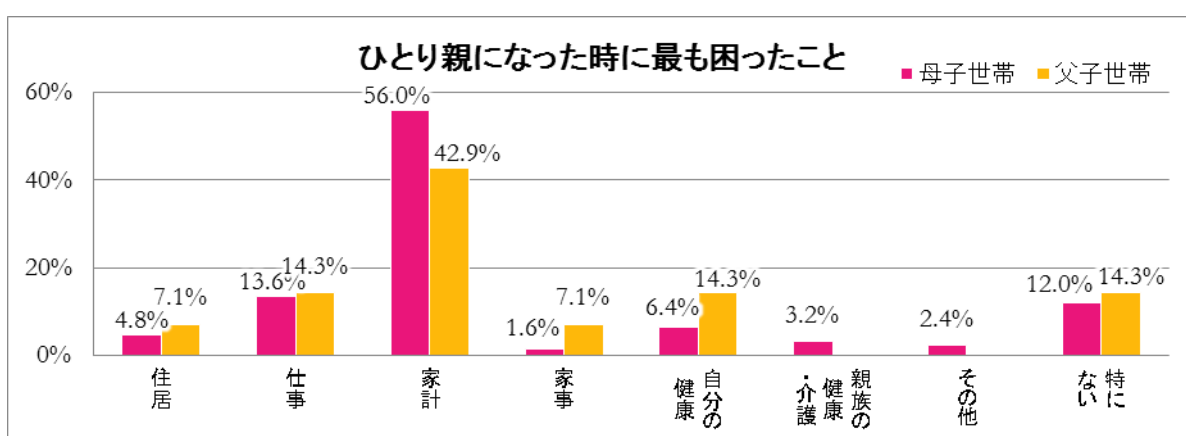
- ひとり親世帯で、子どもが「民間の学習塾（家庭教師を含む）に通っている」のは24.3%で、「通わせたいが通っていない」のは41.2%、「塾に行く必要がなく通っていない」のは34.5%となっています。
- 「通わせたいが通っていない」主な理由は、「経済的余裕がない」が82.7%で、「送迎が困難」が11.5%となっています。



(6) ひとり親自身の状況・相談相手

<ひとり親自身に関する悩み>

- 母子世帯の母自身の困ったこととして、最も多いのは「家計」で、ひとり親になった時（56.0%）から現在（61.5%）、将来（51.7%）に至るまで、その悩みは尽きないものとなっています。
- 父子世帯の父自身の困ったこととして、「家計」が最も多くなっているのは、ひとり親になった時（42.9%）や現在（37.5%）となっています。将来についての不安としては、「親族の健康・介護」が最も多く40.0%となっており、次いで「自分の健康」が30.0%となっています。



第2章 ひとり親家庭の実態

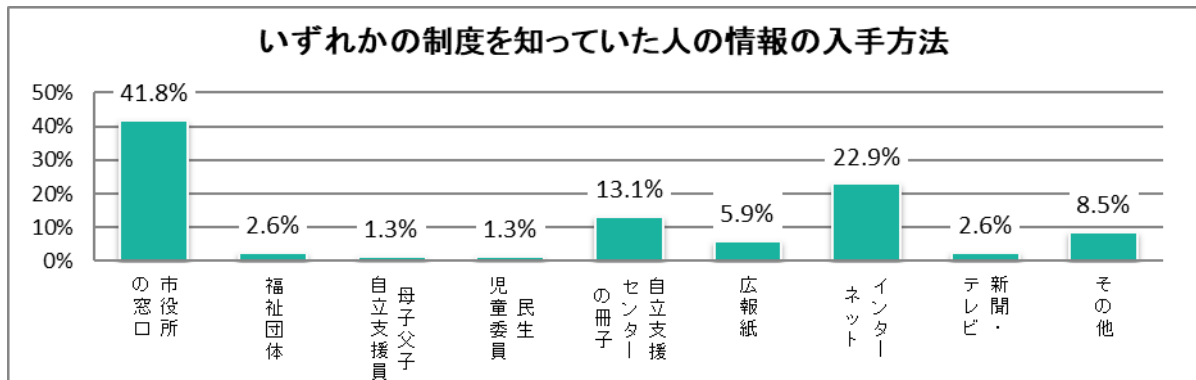
(7) ひとり親家庭等への支援制度の認知度

- ひとり親家庭等への支援制度の認知状況は表のとおりで、多くの事業で「知らない」が6割以上となっています。
- 制度等を「知っている」人の情報の入手方法は、「市役所の窓口」で41.8%となっており、次いで「インターネット」が22.9%となっています。

①助成/給付/貸付制度	知っている	知らない	知っている		知らない	
			母子	父子	母子	父子
			児童手当・児童扶養手当	100.0%	0.0%	100.0%
母子家庭等医療費助成	91.7%	8.3%	93.9%	71.4%	6.1%	28.6%
自立支援教育訓練給付金	32.2%	67.8%	31.8%	35.7%	68.2%	64.3%
高等職業訓練促進給付金	23.6%	76.4%	23.1%	28.6%	76.9%	71.4%
高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	15.4%	84.6%	15.5%	14.3%	84.5%	85.7%
母子父子寡婦福祉資金貸付金	25.2%	74.8%	25.6%	21.4%	74.4%	78.6%

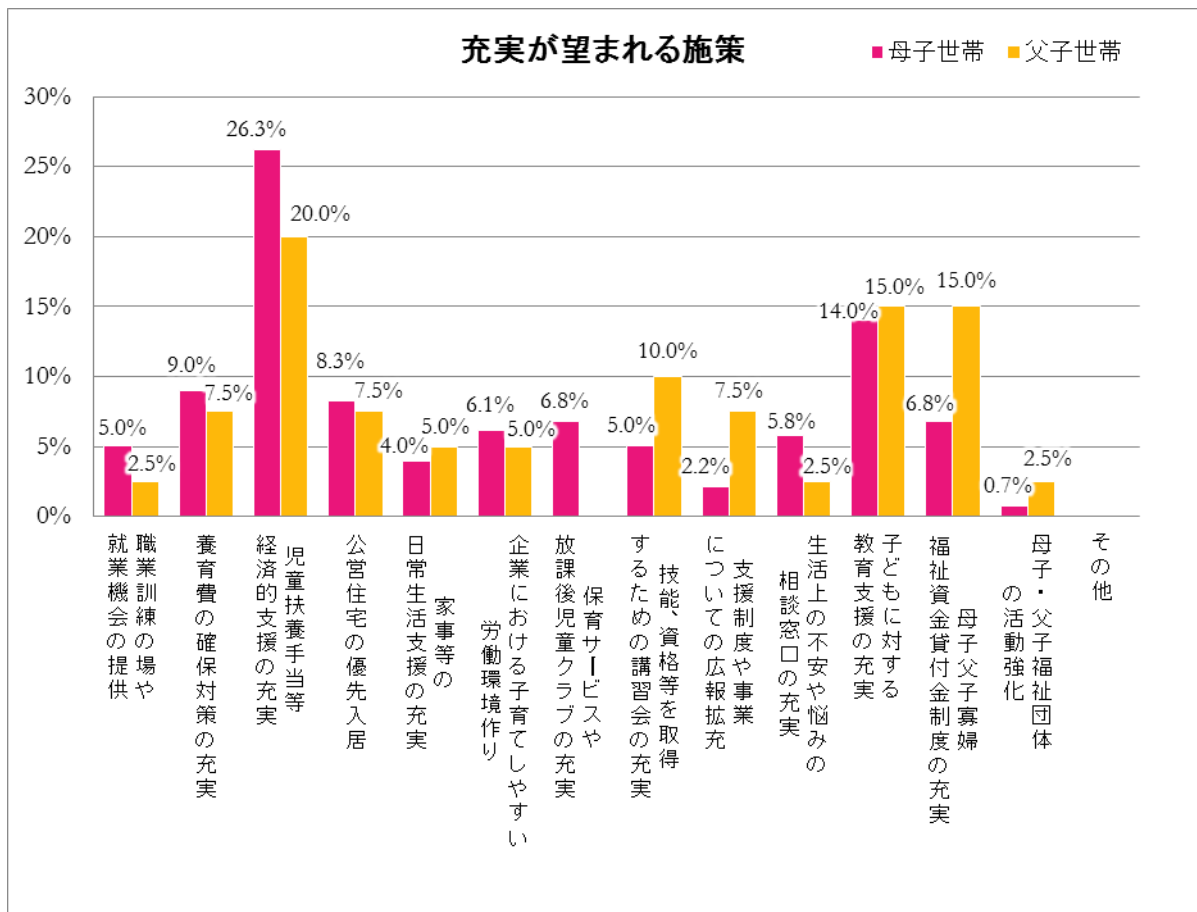
②支援制度等	知っている	知らない	知っている		知らない	
			母子	父子	母子	父子
			母子家庭等日常生活支援事業	16.6%	83.4%	16.8%
子供の未来応援国民運動ホームページ	4.9%	95.1%	5.4%	0.0%	94.6%	100.0%

③福井市ひとり親家庭就業・自立支援センター事業	知っている	知らない	知っている		知らない	
			母子	父子	母子	父子
			就業相談	33.6%	66.4%	35.7%
養育費相談	19.7%	80.3%	21.1%	7.1%	78.9%	92.9%
法律相談	24.8%	75.2%	26.8%	7.1%	73.2%	92.9%
その他の相談	15.8%	84.2%	17.5%	0.0%	82.5%	100.0%
合計	23.6%	76.4%	25.4%	7.3%	74.6%	92.7%



(8) 充実が望まれる施策

- 母子世帯が充実を望む施策（複数回答）は、「児童扶養手当等経済的支援の充実」が26.3%、「子どもに対する教育支援の充実」が14.0%、「養育費の確保対策の充実」が9.0%となっています。
- 父子世帯が充実を望む施策（複数回答）は、「児童扶養手当等経済的支援の充実」が20.0%、「子どもに対する教育支援の充実」及び「母子父子寡婦福祉資金貸付制度の充実」が15.0%となっています。



(9) 現状のまとめと課題

<ひとり親家庭の課題>

母子世帯においては、正規で働く者が5割以下となっています。また、月額就労収入が月20万円以下である世帯は70.4%にも上っており、依然として、母子世帯の就業及び収入が不安定な状況となっています。より収入が高く安定した身分で安心して働けるよう、賃金や労働条件の良い職場への就労支援を実施していく必要があります。

父子世帯において、就業率は100%であり、正規職員の割合も6割を超えています。また、母子家庭とは異なり、子どもに関する悩みでは「食事・栄養」、親自身の悩みでは「住居・家事・自分の健康」があがるなど、家庭生活面で多くの困難を抱えています。子育て・家事と仕事の両立を支援するため、家庭生活支援制度の積極的な利用を促進するなど、子育てなどの悩みを気軽に相談できるよう相談機能の周知が必要となっています。

母子・父子世帯ともに、半数以上の世帯が、養育費・面会交流の文書による取り決めを行っていません。養育費等の取り決めや確保が適切にされるよう社会的気運の醸成や意識付けを行っていく必要があります。

母子・父子世帯ともに、子どもに関する悩みの1位は「教育・進学」となっています。子どもの居場所としても重要な学習支援教室等に取り組む必要があります。

<福祉施策の認知度>

各種支援制度の認知度は、1～3割程度と大変低い水準となっています。

各種支援制度の情報の入手方法は、「市役所の窓口」が4割を占めており、様々な受付の際の情報発信が大きな役割を果たしています。

ひとり親家庭に必要な情報や支援が確実に届くよう、支援制度の一層の周知と、相談しやすい体制作りが必要です。

第3章 ひとり親家庭自立支援の基本的方針

1. 基本理念

ひとり親家庭等の生活の安定と向上、またその子どもたちが健やかに成長することができる環境づくりを進めます。

2. 施策の基本的な方針

ひとり親家庭等の自立を支援するため、次の5つの項目を柱として、具体的な施策を推進します。

① 子育てや生活支援の推進

ひとり親家庭の親が、安心して子育てと就業・就業のための訓練との両立ができるよう、子育てや生活面での支援制度の利用を促進します。また、地域の相互扶助による子育てや生活面での支援を推進します。

② 就業支援の推進

ひとり親家庭及び寡婦が十分な収入を得ることができ、自立した生活を送ることができるよう、就業面での支援を推進します。

③ 養育費の確保及び面会交流に関する取り決めの推進

ひとり親家庭の児童が必ず養育費を取得できるよう、養育費の支払についての社会的気運の醸成を図るなど、養育費確保面での取り決めに促進します。また、面会交流は、子どもの立場からの実施が望ましいことや面会交流が適切でない場合があることなど、専門性が必要であること等に留意の上、相談等に対応します。

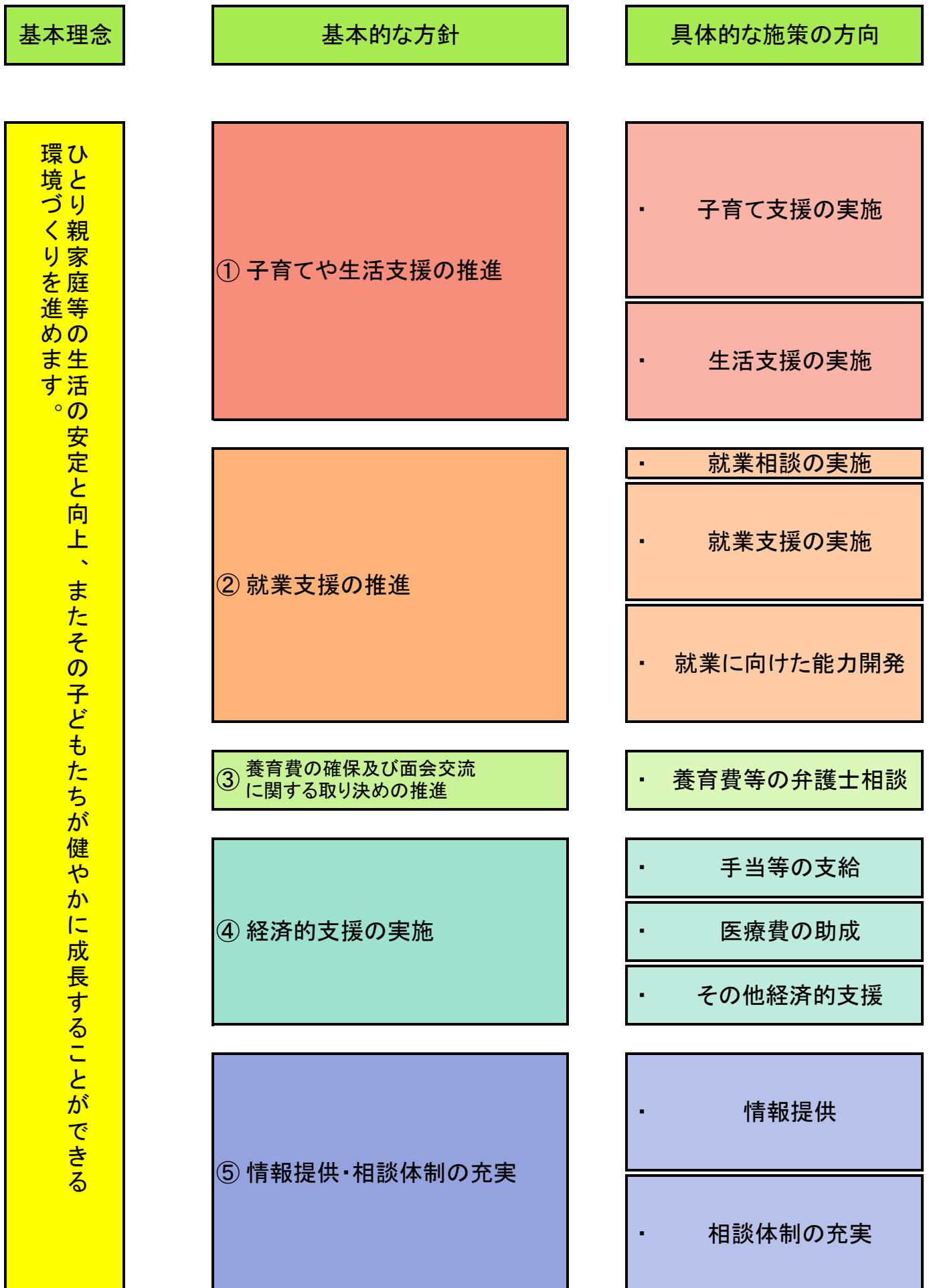
④ 経済的支援の実施

ひとり親にとって重要な支えとなっている様々な経済的支援制度が十分利用されるよう、制度について積極的に情報提供を実施します。

⑤ 情報提供・相談体制の充実

ひとり親家庭への支援制度の情報が的確に伝わるよう情報提供体制の充実を図ります。また、ひとり親家庭の子育てや就業など生活全般に関する相談について、適切に対応できるように各種関係機関と十分に連携していきます。

3. 施策の体系



第3章 ひとり親家庭自立支援の基本的方針

具体的施策の展開

・ 学習支援体制の充実
・ 進学のための母子父子寡婦福祉資金貸付(就学支度資金・修学資金)の実施
・ 保育所等優先入所の推進と保育料減免の実施
・ 病児保育事業の実施
・ 子育て短期支援事業の実施
・ 多様な保育サービスの実施
・ 母子家庭等日常生活支援事業の実施
・ 放課後児童クラブ等の利用料一部助成の実施
・ 母子父子寡婦福祉資金貸付(住宅資金・転宅資金)の実施
・ 母子生活支援施設を活用した生活支援の実施
・ ひとり親家庭就業・自立支援センター事業による就業相談の実施
・ 母子・父子自立支援プログラム策定による就業支援
・ ハローワーク等関係機関と連携した就業支援
・ 生活困窮者自立支援制度による就業支援
・ ひとり親の雇用に関する事業主への働きかけ
・ 自立支援教育訓練給付金の支給
・ 高等職業訓練促進給付金の支給
・ 技能習得期間中の母子父子寡婦福祉資金貸付(技能習得資金・生活資金)の実施
・ 高等学校卒業程度認定試験合格支援の実施
・ 養育費および面会交流の弁護士相談の支援
・ 養育費および面会交流に関する啓発の推進
・ 児童扶養手当の適正な支給
・ 児童手当の支給
・ 母子家庭等医療費の助成
・ 子ども医療費の助成
・ 母子父子寡婦福祉資金貸付の実施
・ 多子世帯支援
・ 広報紙やHP等を利用した情報提供
・ 行政窓口等での情報提供
・ 地域で活動している人からの情報提供
・ 福井市母子寡婦福祉連合会への支援
・ 母子・父子自立支援員による相談事業の実施
・ 女性相談員による相談事業の実施
・ 子ども相談事業の実施
・ 母子・父子自立支援員等の資質向上のための研修会への参加

第4章 具体的施策の展開

①子育てや生活支援の推進

ひとり親家庭が子育てと仕事に安心して取り組めるよう、多様な保育サービスを提供します。また、家事やしつけ等、ひとり親家庭が抱える様々な課題に対する支援を実施します。

○達成を目指す目標○

	現状値	令和6年度
学習支援教室等参加登録者数※生活困窮世帯を含む	50人	100人

(1) 子育て支援の実施

◆ 学習支援体制の充実

ひとり親家庭の子どもに学習習慣を定着させ、学習意欲の向上を図るため、地域の児童館等に学習の場を設け、大学生や教員OBなどの学習ボランティアによる学習支援教室を実施します。また、子どもの学力の向上のため、民間委託を含めた学習支援の拡充や学習支援を実施する団体への支援などを検討し、更なる学習支援体制の充実を図れるよう取組を推進していきます。

◆ 進学のための母子父子寡婦福祉資金貸付（就学支度資金・修学資金）の実施

ひとり親および寡婦が扶養する子どもが高校や専修学校、大学などに就学するために必要な入学金・授業料などの資金の貸付を行います。また、貸付にあたっては、利用者の負担を軽減するため、無理のない償還計画を立てるなどの相談に応じます。

なお、各種給付型奨学金についても案内し、ひとり親家庭の負担軽減を図ります。

◆ 保育所等優先入所の推進と保育料減免の実施

ひとり親家庭をめぐる就職環境が厳しいことを踏まえ、就業や求職活動、職業訓練のため、ひとり親家庭の子どもの保育所等への優先的入所を実施しています。また、ひとり親家庭の子どもの保育料についても、所得に応じて減免を実施しています。

◆ 病児保育事業の実施

病気治療中や病気回復期で、保育園等に預けられない子どもを、病児保育施設において一時的に預かります。母子家庭等医療費等受給世帯又は児童扶養手当受給世帯について、利用料の助成を実施しています。

◆ 子育て短期支援事業の実施

保護者の病気や出産、冠婚葬祭や恒常的な残業等により、日中や夜間に一時的に家庭で養育できないときなどに子どもを預かるショートステイやトワイライトステイを実施しています。母子家庭等医療費等受給世帯又は児童扶養手当受給世帯について、利用料の助成を実施しています。

◆ 多様な保育サービスの実施

通院、看護、冠婚葬祭、就業、行事参加など社会的にやむを得ない事由により、家庭で一時的に子どもを養育できない保護者のため、様々な保育サービスを実施しています。

延長保育	対象児童の認定利用時間を超えて保育を実施
休日保育	保護者の勤務状況等により、日曜・祝日等の休日に保育を必要とする子どもを対象に保育を実施
一時預かり	一時的・緊急的に児童の保育が必要な場合に保育を実施
すみずみ子育てサポート事業	施設での一時預かり、家庭での援助（一時預かり、保育所等への送迎、家事援助）を実施

(2) 生活支援の実施

◆ 母子家庭等日常生活支援事業の実施

ひとり親家庭及び寡婦が、社会的事由や自立促進に必要な事由などにより日常生活を営むことが困難な場合に、家庭生活支援員を派遣し、一時的に生活援助や子育て支援を行います。

◆ 放課後児童クラブ等の利用料一部助成の実施

児童扶養手当や母子家庭等医療費助成制度を受けているひとり親家庭が、子どもの健全育成と仕事の両立を目的とする放課後児童クラブ等を利用する際、経済的負担を軽減するため利用料の一部助成を実施しています。

◆ 母子父子寡婦福祉資金貸付（住宅資金・転宅資金）の実施

ひとり親等が住宅を建築（購入・補修・保全・改築・増築）する場合や転居する場合に、住宅資金や転宅資金の貸付を行います。

住宅資金	住宅の建築(購入・補修・保全・改築・増築) 資金を貸付
転宅資金	住居を移転するため住居の賃借に際し必要な資金を貸付

◆ 母子生活支援施設を活用した生活支援の実施

離婚等の家庭環境の変化により自立した生活を送ることが困難な母子家庭に対して、母子生活支援施設を活用することにより、居住の場とともに精神的に安定できる環境を提供し、生活や養育上の総合的な支援と退所後の自立に向けた支援を実施します。

②就業支援の推進

ひとり親家庭等が安定的な収入を得ることにより、経済的に自立した生活が送れるよう、就業相談をはじめとして職業能力向上のための訓練や就業に結びつく就業支援を推進します。

○達成を目指す目標○

	平均値 (H26~H30)	令和6年度
就業相談者数	80人	100人

(1) 就業相談の実施

◆ ひとり親家庭就業・自立支援センター事業による就業相談の実施

ひとり親家庭就業・自立支援センター事業の一環として、就業相談に応じるほか、母子・父子自立支援プログラム策定などにより、家庭の状況・職業の適性・就業適性等個別の状況に応じた求職活動を支援していきます。

(2) 就業支援の実施

◆ 母子・父子自立支援プログラム策定による就業支援

児童扶養手当を受給しているひとり親家庭の自立を支援するため、母子・父子自立支援員と連携し、現状や個々のニーズに合わせた支援内容の母子・父子自立支援プログラムを策定し、自立に向けて支援します。

◆ ハローワーク等関係機関と連携した就業支援

児童扶養手当受給者の就労支援については、母子・父子自立支援プログラム策定をした上で、ハローワーク等と連携し、各種助成制度の提供、就業・能力開発に関する相談等に対応します。

◆ 生活困窮者自立支援制度による就業支援

仕事が見つからない、社会に出るのが怖い、病気で働けないなど、様々な理由で就業ができない方に対し、一人ひとりに応じた解決のため、支援員が自立に向けた支援プランを作成し、寄り添いながら自立支援を行います。

◆ ひとり親の雇用に関する事業主への働きかけ

ひとり親の就業を促進するため、民間事業者に対して理解と協力を呼びかけます。また、ひとり親の雇用に際し、事業主に対して福井労働局や市が実施する各種助成金制度の周知を図り、その活用を推進していきます。

(3) 就業に向けた能力開発

◆ 自立支援教育訓練給付金の支給

ひとり親家庭の親が主体的な能力開発及び資格取得のため、指定された教育訓練講座を受講し、修了したときにその経費の一部を支給します。

対象者	児童扶養手当の支給所得水準のひとり親
対象講座	雇用保険制度の教育訓練給付金の指定教育訓練講座
支給額	受講料の6割相当額 (上限20万円・但し、1万2千円を超えない場合は不支給) ※雇用保険法及び雇用保険法施行規則の規定による一般教育訓練に係る教育訓練給付金の支給を受けることができる場合には、その額を差し引いた額を支給

◆ 高等職業訓練促進給付金の支給

ひとり親家庭の親が、就職に有利な資格を取得するために、1年以上養成機関で修業する場合、その間の生活費を支給します。

対象者	児童扶養手当の支給所得水準のひとり親で、1年以上のカリキュラムの養成機関に通学して対象資格の取得が見込まれる者
対象資格	看護師・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士など
支給額	○高等職業訓練促進給付金 [修業期間全期間支給 (上限48月)] 市民税非課税世帯 月額10万円 市民税課税世帯 月額7万5千円 ※最終年は4万円増額 ○高等職業訓練修了支援給付金 市民税非課税世帯 5万円 市民税課税世帯 2万5千円

◆ 技能習得期間中の母子父子寡婦福祉資金貸付(技能習得資金・生活資金)の実施

ひとり親等が就職するために必要な技能を習得する場合、技能習得資金や生活資金の貸付を行います。

◆ 高等学校卒業程度認定試験合格支援の実施

ひとり親家庭の親及びその児童が、高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す場合、対象講座の受講費用の一部を支給します。

受講修了時給付金	受講費用の2割(上限10万円)
合格時給付金	受講費用の4割(受講修了時給付金合わせて上限15万円)

③養育費の確保及び面会交流に関する取り決めの推進

ひとり親の家庭の子どもが適切な養育費を受け取れるよう情報提供を行うなど、養育費や面会交流に関する取り決めに促進します。

○達成を目指す目標○

	現状値 (9月末時点)	令和6年度
養育費相談から弁護士相談につなげた件数	1件	10件

(1) 養育費等の弁護士相談

◆ 養育費および面会交流の弁護士相談の支援

ひとり親家庭就業・自立支援センター事業の一環として、養育費取得や面会交流に関する相談に対応します。法的措置を要する対応困難な事例については、弁護士による無料相談や養育費相談支援センターとの連携によりサポートします。

◆ 養育費および面会交流に関する啓発の推進

養育費や面会交流の取り決め方などを紹介するリーフレット等を窓口を設置することや、児童扶養手当等の手続き時など様々な機会にチラシを配布することなどのほか、いつでも情報を得られるよう市のホームページ等により周知するなど、幅広く情報提供を行います。

④経済的支援の実施

児童扶養手当や母子家庭等医療費助成、母子父子寡婦福祉資金貸付等、各種経済的支援制度についての情報提供を実施するとともに、制度が十分利用されるよう支援していきます。

○達成を目指す目標○

	現状値	令和6年度
母子父子寡婦福祉資金貸付事業の認知度	25.2%	60%以上

(1) 手当等の支給

◆ 児童扶養手当の適正な支給

児童の福祉の増進を図るため、父親または母親がいない児童や、父親または母親が一定以上の障がいの状態にある児童を養育している人に支給します。

◆ 児童手当の支給

家庭生活の安定と次代の社会を担う児童の健やかな成長を図るため、中学校修了前までの児童を養育している人に支給します。

(2) 医療費の助成

◆ 母子家庭等医療費の助成

ひとり親家庭等の保健の向上と福祉の増進を図るため、ひとり親の親およびその20歳未満の子どもが支払った医療費を助成します。

◆ 子ども医療費の助成

子どもの健やかな成長を支援するとともに、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、中学校修了前までの子どもの医療費を助成します。

(3) その他経済的支援

◆ 母子父子寡婦福祉資金貸付の実施

ひとり親家庭等に対し、修学資金等の母子父子寡婦福祉資金貸付制度に関する情報提供を行い利用の促進を図るとともに、利用者の立場に立った適切な貸付を行います。

◆ 多子世帯支援

多子世帯の経済的支援を目的に、小学校就学前までの保育料の原則無料化等を行います。

⑤情報提供・相談体制の充実

ひとり親家庭等の自立支援をはじめとした生活全般のことや子どもに関する様々な悩みなどについて、早い段階から相談に応じ支援が行き届くよう、情報提供や相談体制の充実を図ります。

○達成を目指す目標○

	現状値	令和6年度
ひとり親家庭就業・自立支援センターの相談業務の認知度	23.6%	60%以上

(1) 情報提供

◆ 広報紙やHP等を利用した情報提供

子育てや就業支援等に関する施策を紹介したしおりや、市政広報等による制度の周知を図ります。また、ホームページやSNS等を活用した情報提供に努めます。

◆ 行政窓口等での情報提供

ひとり親になった際に、速やかに支援制度の情報を提供できるよう、関係部署との連携を図っていきます。また、児童扶養手当の現況届や母子家庭等医療費受給資格の更新等の機会に、自立支援制度の周知と利用促進に努めます。

◆ 地域で活動している人からの情報提供

福井市母子寡婦福祉連合会や民生児童委員が適切な情報発信が行えるよう、地域で活動している人に、ひとり親家庭への子育てや就業支援等の制度の周知を図ります。

◆ 福井市母子寡婦福祉連合会への支援

福井市母子寡婦福祉連合会の実施する事業について、支援を行うほか、協働してひとり親家庭に対する支援および施策の周知を図ります。

(2) 相談体制の充実

◆ 母子・父子自立支援員による相談事業の実施

母子・父子自立支援員が、ひとり親家庭に対する総合的な窓口として、自立に必要な情報提供を行うとともに生活全般の様々な相談に応じます。

◆ 女性相談員による相談事業の実施

配偶者からの暴力による被害の相談、保護、自立支援など適切かつ迅速に進め、また関係機関との相互連携等を図るための窓口として、女性相談員が女性が抱えているさまざまな問題や悩みに関する相談に応じます。

◆ 子ども相談事業の実施

子育ての不安や気がかりなこと、子どもに関する様々な悩みについて、専門の相談員が必要な情報提供やアドバイス・カウンセリングを行うなど、自らが問題解決に向かえるよう電話および来所による相談を行っています。

◆ 母子・父子自立支援員等の資質向上のための研修会への参加

母子・父子自立支援員や女性相談員等がひとり親家庭の自立支援に向けて、適切かつ効果的に相談を行えるよう、各種研修等に参加して相談体制の充実を図ります。

19. 現在の生活状況	47
◎養育費・面会交流の状況	
20. 養育費の相談先	48
20-1. 養育費取り決めの状況	48
20-2. 養育費の受給状況	49
20-3. 養育費の額	49
21. 養育費の取り決めでしなかった理由	50
22. 面会交流の相談先	51
22-1. 面会交流取り決めの状況	51
22-2. 面会交流の実施状況	52
22-3. 面会交流の頻度	52
23. 面会交流の取り決めでしなかった理由	53
◎子どもの状況	
24. 子どもについての悩み	54
25. 子どもの将来について重視すること	55
26. 子どもの最終進学目標	55
27. 子どもの通塾状況	55
27-1. 学習塾に通わせたいが通わせていない理由	56
28. 学習支援事業の利用状況	57
29. 子どもの放課後の過ごし方	58
◎困っていること	
30. ひとり親になった時に困ったこと	59
30-1. 現在の悩み	60
30-2. 将来について不安なこと	61
31. 充実していて楽しいと感じるとき	61
32. 困ったときの主な相談相手	62
33. 近所づきあいの程度	62
◎公的制度の認知・利用状況	
34. 福祉関係の公的制度の認知・利用状況	63
34-1. 支援制度の情報の入手方法	66
35. 充実が望まれる施策	67
3. 調査表	68

令和元年度福井市ひとり親家庭実態調査概要

1. 調査目的

福井市内における母子世帯、父子世帯の生活の実態を把握し、「福井市ひとり親家庭自立促進計画」策定のための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の実施主体

福井市

3. 調査の対象者

福井市内に居住する母子世帯、父子世帯

4. 調査方法

児童扶養手当現況届の提出の際に、窓口で配布回収（8月）

5. 調査基準日

令和元年8月1日

6. 調査票回収数

200世帯（調査サンプル数[目標数]100世帯※）

※統計学上、全世帯から回答を得た際の統計との誤差を10%以内に収めるために必要な数

7. 調査票の回収状況

世帯区分	調査票回収数 (調査票配布数)		児童扶養手当受給者数 (令和元年8月現在)	
	総数(件)	構成比(%)	総数(人)	構成比(%)
母子世帯	184	92.0%	1,719	92.9%
父子世帯	16	8.0%	126	6.8%
養育者	—	—	7	0.3%
合計	200	100.0%	1,852	100.0%

令和元年度福井市ひとり親家庭実態調査結果一覧

結果一覧について

- 「実数（有効回答数）」は、「不詳」となる回答（無記入、無効回答など）がある調査票を除いた、有効な調査票の数を表している。
- 「構成比・割合」は、「実数（有効回答数）」を分母とした値を表している。
- 「構成比・割合」は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

◎本人と家族の状況

1. 世帯別回答者数

	総数（件）
母子世帯	184
父子世帯	16
合計	200

2. 調査時の親の年齢

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	181	16	197	100.0%	100.0%	100%
20歳未満	0	0	0	0.0%	0.0%	0%
20～25歳	4	0	4	2.2%	0.0%	2%
26～30歳	8	1	9	4.4%	6.3%	5%
31～35歳	30	1	31	16.6%	6.3%	16%
36～40歳	42	2	44	23.2%	12.5%	22%
41～45歳	44	4	48	24.3%	25.0%	24%
46～50歳	42	4	46	23.2%	25.0%	23%
51歳以上	11	4	15	6.1%	25.0%	8%

3. 家族構成

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	181	16	197	100.0%	100.0%	100.0%
親子のみ	121	9	130	66.9%	56.3%	66.0%
実父母等との同居	54	7	61	29.8%	43.8%	31.0%
その他	6	0	6	3.3%	0.0%	3.1%

3-1. 調査時点の子どもの状況

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	285	22	307	100.0%	100.0%	100.0%
未就学児	26	3	29	9.1%	13.6%	9.5%
小学生	87	5	92	30.5%	22.7%	30.0%
中学生	73	6	79	25.6%	27.3%	25.7%
高校生・高等専門学校	68	7	75	23.9%	31.8%	24.4%
専修大学	1	0	1	0.4%	0.0%	0.3%
短大・大学	12	0	12	4.2%	0.0%	3.9%
就労	14	1	15	4.9%	4.6%	4.9%
その他	4	0	4	1.4%	0.0%	1.3%

4. ひとり親になった理由

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	181	16	197	100.0%	100.0%	100.0%
死別	7	1	8	3.9%	6.3%	4.1%
生別	174	15	189	96.1%	93.8%	95.9%
離婚	163	14	177	90.1%	87.5%	89.9%
未婚	11	0	11	6.1%	0.0%	5.6%
その他	0	1	1	0.0%	6.3%	0.5%

5-1. ひとり親になった時の親の年齢

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	179	16	195	100.0%	100.0%	100.0%
20歳未満	2	0	2	1.1%	0.0%	1.0%
20～25歳	28	0	28	15.6%	0.0%	14.4%
26～30歳	34	2	36	19.0%	12.5%	18.5%
31～35歳	45	2	47	25.1%	12.5%	24.1%
36～40歳	42	6	48	23.5%	37.5%	24.6%
41～45歳	19	2	21	10.6%	12.5%	10.8%
46～50歳	7	3	10	3.9%	18.8%	5.1%
51歳以上	2	1	3	1.1%	6.3%	1.5%

5-2. ひとり親になった時の子どもの状況

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	282	22	304	100.0%	100.0%	100.0%
未就学児	141	7	148	50.0%	31.8%	48.7%
小学生	77	11	88	27.3%	50.0%	29.0%
中学生	32	4	36	11.4%	18.2%	11.8%
高校生・高等専門学校	21	0	21	7.5%	0.0%	6.9%
専修大学	1	0	1	0.4%	0.0%	0.3%
短大・大学	4	0	4	1.4%	0.0%	1.3%
就労	3	0	3	1.1%	0.0%	1.0%
その他	3	0	3	1.1%	0.0%	1.0%

6. 住居の状況

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	176	16	192	100.0%	100.0%	100.0%
持ち家(本人名義)	37	6	43	21.0%	37.5%	22.4%
市営・県営住宅	17	1	18	9.7%	6.3%	9.4%
社宅・公舎	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
借家・賃貸	75	5	80	42.6%	31.3%	41.7%
同居（実家等）	38	4	42	21.6%	25.0%	21.9%
その他	9	0	9	5.1%	0.0%	4.7%

◎仕事等について

7. ひとり親になる前の親の就労形態

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	178	16	194	100.0%	100.0%	100.0%
就労	160	16	176	89.9%	100.0%	90.7%
正規の職員・従業員	59	13	72	33.2%	81.3%	37.1%
パート・アルバイト等	77	0	77	43.3%	0.0%	39.7%
労働派遣会社の派遣社員	5	0	5	2.8%	0.0%	2.6%
会社の役員など	3	0	3	1.7%	0.0%	1.6%
自営業	11	3	14	6.2%	18.8%	7.2%
家族従事者	3	0	3	1.7%	0.0%	1.6%
その他	2	0	2	1.1%	0.0%	1.0%
不就労	18	0	18	10.1%	0.0%	9.3%

7-1. ひとり親になったことを契機とした転職の有無

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	150	16	166	100.0%	100.0%	100.0%
転職した	77	7	84	51.3%	43.8%	50.6%
転職していない	73	9	82	48.7%	56.3%	49.4%

7-2. 転職した理由

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数（複数回答）	139	14	153	100.0%	100.0%	100.0%
収入がよくない	46	2	48	33.1%	14.3%	31.4%
勤め先が自宅から遠い	14	2	16	10.1%	14.3%	10.5%
健康がすぐれない	5	1	6	3.6%	7.1%	3.9%
仕事の内容がよくない	7	0	7	5.0%	0.0%	4.6%
職場環境になじめない	1	0	1	0.7%	0.0%	0.7%
労働時間があわない	29	4	33	20.9%	28.6%	21.6%
社会保険がない又は不十分	6	0	6	4.3%	0.0%	3.9%
休みが少ない	10	2	12	7.2%	14.3%	7.8%
身分が安定していない	3	0	3	2.2%	0.0%	2.0%
経験や能力が発揮できない	4	1	5	2.9%	7.1%	3.3%
自営業等であったが離婚したため	2	0	2	1.4%	0.0%	1.3%
その他	12	2	14	8.6%	14.3%	9.2%
最大の理由	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	69	6	75	100.0%	100.0%	49.0%
収入がよくない	31	1	32	44.9%	16.7%	20.9%
勤め先が自宅から遠い	8	0	8	11.6%	0.0%	5.2%
健康がすぐれない	1	0	1	1.5%	0.0%	0.7%
仕事の内容がよくない	2	0	2	2.9%	0.0%	1.3%
職場環境になじめない	1	0	1	1.5%	0.0%	0.7%
労働時間があわない	13	3	16	18.8%	50.0%	10.5%
社会保険がない又は不十分	2	0	2	2.9%	0.0%	1.3%
休みが少ない	1	1	2	1.5%	16.7%	1.3%
身分が安定していない	1	0	1	1.5%	0.0%	0.7%
経験や能力が発揮できない	1	0	1	1.5%	0.0%	0.7%
自営業等であったが離婚したため	1	0	1	1.5%	0.0%	0.7%
その他	7	1	8	10.1%	16.7%	5.2%

8. 現在の親の就労形態

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	158	14	172	100.0%	100.0%	100.0%
就労	147	14	161	93.0%	100.0%	93.6%
正規の職員・従業員	72	9	81	45.6%	64.3%	47.1%
パート・アルバイト等	53	1	54	33.5%	7.1%	31.4%
労働派遣会社の派遣社員	4	0	4	2.5%	0.0%	2.3%
会社の役員など	2	1	3	1.3%	7.1%	1.7%
自営業	13	3	16	8.2%	21.4%	9.3%
家族従事者	1	0	1	0.6%	0.0%	0.6%
その他	2	0	2	1.3%	0.0%	1.2%
不就労	11	0	11	7.0%	0.0%	6.4%

8-1. 現在の親の職業

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	160	15	175	100.0%	100.0%	100.0%
専門・技術職 （教員、看護師、保育士など）	31	0	31	19.4%	0.0%	17.7%
管理職 （企業、団体の課長・部長など）	2	0	2	1.3%	0.0%	1.1%
事務職 （一般、経理、医療事務など）	31	0	31	19.4%	0.0%	17.7%
営業・販売職 （店主、店員、保険外交員など）	34	4	38	21.3%	26.7%	21.7%
農林・漁業の仕事	2	0	2	1.3%	0.0%	1.1%
保安職 （自衛官、警察官、守衛など）	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
生産工程の仕事 （食料品、衣服・繊維製品製造など）	7	3	10	4.4%	20.0%	5.7%
輸送・機械運転の仕事 （電車・バス等の運転手、車掌など）	0	2	2	0.0%	13.3%	1.1%
建設・採掘の仕事 （大工、左官、電気工事など）	0	2	2	0.0%	13.3%	1.1%
運搬・清掃の仕事 （配達員、清掃員など）	5	0	5	3.1%	0.0%	2.9%
サービス職 （理・美容師、介護職、家政婦など）	39	3	42	24.4%	20.0%	24.0%
その他 （在宅就業者、個人事業主など）	9	1	10	5.6%	6.7%	5.7%

8-2. 現在の仕事の勤務時間帯と平均就業時間

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数（複数回答）	201	19	220	100.0%	100.0%	100.0%
早朝（朝5時～8時頃）	7	2	9	3.5%	10.5%	4.1%
午前（8時～12時頃）	25	1	26	12.4%	5.3%	11.8%
午後（12時～17時頃）	21	2	23	10.5%	10.5%	10.5%
日中（8時～17時頃）	114	8	122	56.7%	42.1%	55.5%
夕方～夜（17時～22時頃）	16	3	19	8.0%	15.8%	8.6%
深夜（22時～翌日5時頃）	6	0	6	3.0%	0.0%	2.7%
終日勤務（24時間体制）	2	1	3	1.0%	5.3%	1.4%
交代勤務等で変動	10	2	12	5.0%	10.5%	5.5%
平均就業時間（1週間あたり）						
総数	145	14	159	72.1%	73.7%	72.3%
10時間以下	90	6	96	44.8%	31.6%	43.6%
11～20時間	12	4	16	6.0%	21.1%	7.3%
21～30時間	5	0	5	2.5%	0.0%	2.3%
31～40時間	17	0	17	8.5%	0.0%	7.7%
41～50時間	12	3	15	6.0%	15.8%	6.8%
51時間以上	9	1	10	4.5%	5.3%	4.6%

8-3. 現在の転職希望の有無

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	151	14	165	100.0%	100.0%	100.0%
転職を希望する	35	1	36	23.2%	7.1%	21.8%
転職を希望しない	116	13	129	76.8%	92.9%	78.2%

8-4. 働く上で重視する点

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	539	41	580	100.0%	100.0%	100.0%
身分が安定している	44	7	51	8.2%	17.1%	8.8%
休暇が取りやすい	77	7	84	14.3%	17.1%	14.5%
十分な収入が得られる	83	8	91	15.4%	19.5%	15.7%
育児の時間が確保できる	31	2	33	5.8%	4.9%	5.7%
土日に休める	45	1	46	8.4%	2.4%	7.9%
就業時間に融通が利く	52	4	56	9.7%	9.8%	9.7%
在宅できる	3	1	4	0.6%	2.4%	0.7%
年金、雇用保険に入れる	66	3	69	12.2%	7.3%	11.9%
通勤時間が短い	52	3	55	9.7%	7.3%	9.5%
経験や能力が発揮できる	34	3	37	6.3%	7.3%	6.4%
家事への負担が軽減される	11	1	12	2.0%	2.4%	2.1%
残業が少ない	39	1	40	7.2%	2.4%	6.9%
その他	2	0	2	0.4%	0.0%	0.3%

9. 不労者の就業希望の有無

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	12	0	12	100.0%	0.0%	100.0%
就職したい	7	0	7	58.3%	0.0%	58.3%
そのうち就職したい	5	0	5	41.7%	0.0%	41.7%
就職は考えていない	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

10. 不労の理由

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	14	0	14	100.0%	0.0%	100.0%
仕事の探し方がわからない	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
働ける健康状態ではない	4	0	4	28.6%	0.0%	28.6%
収入面で条件に合う仕事がない	1	0	1	7.1%	0.0%	7.1%
時間について条件の合う仕事がない	2	0	2	14.3%	0.0%	14.3%
年齢により制限される	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
最終学歴により制限される	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
その他	7	0	7	50.0%	0.0%	50.0%

1 1. 就労が可能となる条件

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	16	1	17	100.0%	100.0%	100.0%
子どもが保育園等に入れたら	3	0	3	18.8%	0.0%	17.7%
子どもの問題（健康など）が解決したら	4	0	4	25.0%	0.0%	23.5%
自分の問題（健康など）が解決したら	2	0	2	12.5%	0.0%	11.8%
学校や職業訓練が終了したら	1	0	1	6.3%	0.0%	5.9%
仕事に必要な資格や技能が身についたら	2	1	3	12.5%	100.0%	17.7%
その他	4	0	4	25.0%	0.0%	23.5%

1 2. 親の最終学歴

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	154	15	169	100.0%	100.0%	100.0%
中学校卒業	23	4	27	14.9%	26.7%	16.0%
高等学校卒業	70	5	75	45.5%	33.3%	44.4%
短期大学、専門学校卒業	46	2	48	29.9%	13.3%	28.4%
大学卒業	15	4	19	9.7%	26.7%	11.2%
その他	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

13. 保有している資格の有無と種類

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	161	14	175	100.0%	100.0%	100.0%
持っている	104	8	112	64.6%	57.1%	64.0%
持っていない	57	6	63	35.4%	42.9%	36.0%
保有資格（複数回答）						
総数	138	9	147	100.0%	100.0%	100.0%
看護師	6	0	6	4.4%	0.0%	4.1%
保育士	6	0	6	4.4%	0.0%	4.1%
理学療法士	1	0	1	0.7%	0.0%	0.7%
作業療法士	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
介護福祉士	12	0	12	8.7%	0.0%	8.2%
准看護師	3	0	3	2.2%	0.0%	2.0%
調理師	12	2	14	8.7%	22.2%	9.5%
理容師	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
歯科衛生士	1	0	1	0.7%	0.0%	0.7%
美容師	5	0	5	3.6%	0.0%	3.4%
柔道整復師	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
栄養士	2	0	2	1.5%	0.0%	1.4%
管理栄養士	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
言語聴覚士	1	0	1	0.7%	0.0%	0.7%
はり師・きゅう師	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
高等学校卒用程度認定資格	6	0	6	4.4%	0.0%	4.1%
日商簿記	19	1	20	13.8%	11.1%	13.6%
警護職員初任者研修	1	0	1	0.7%	0.0%	0.7%
医療事務	10	0	10	7.3%	0.0%	6.8%
ケアマネージャー	5	0	5	3.6%	0.0%	3.4%
情報処理に関する認定 （マイクロオフィススペ シャリストなど）	14	1	15	10.1%	11.1%	10.2%
その他	34	5	39	24.6%	55.6%	26.5%

14. 今後取得したい資格

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	146	12	158	100.0%	100.0%	100.0%
看護師	6	2	8	4.1%	16.7%	5.1%
保育士	2	1	3	1.4%	8.3%	1.9%
理学療法士	2	0	2	1.4%	0.0%	1.3%
作業療法士	2	1	3	1.4%	8.3%	1.9%
介護福祉士	6	1	7	4.1%	8.3%	4.4%
准看護師	2	0	2	1.4%	0.0%	1.3%
調理師	4	0	4	2.7%	0.0%	2.5%
理容師	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
歯科衛生士	4	0	4	2.7%	0.0%	2.5%
美容師	2	0	2	1.4%	0.0%	1.3%
柔道整復師	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
栄養士	7	1	8	4.8%	8.3%	5.1%
管理栄養士	2	1	3	1.4%	8.3%	1.9%
言語聴覚士	1	0	1	0.7%	0.0%	0.6%
はり師・きゅう師	2	0	2	1.4%	0.0%	1.3%
高等学校卒用程度認定資格	5	1	6	3.4%	8.3%	3.8%
日商簿記	2	0	2	1.4%	0.0%	1.3%
警護職員初任者研修	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
医療事務	11	0	11	7.5%	0.0%	7.0%
ケアマネージャー	9	0	9	6.2%	0.0%	5.7%
情報処理に関する認定 （マイクロオフィススペ シャリストなど）	4	0	4	2.7%	0.0%	2.5%
その他	13	0	13	8.9%	0.0%	8.2%
特に希望なし	60	4	64	41.1%	33.3%	40.5%

14-1. 資格取得に関する悩み

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	228	18	246	100.0%	100.0%	100.0%
費用の不足	53	5	58	23.3%	27.8%	23.6%
時間の不足	56	5	61	24.6%	27.8%	24.8%
収入が減る	25	1	26	11.0%	5.6%	10.6%
子どもの預け先	11	0	11	4.8%	0.0%	4.5%
職場の理解	15	1	16	6.6%	5.6%	6.5%
情報の入手方法	5	0	5	2.2%	0.0%	2.0%
基礎知識・学歴	13	2	15	5.7%	11.1%	6.1%
特になし	50	4	54	21.9%	22.2%	22.0%

◎現在の生活状況

15. 現在の親の健康状態

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	164	15	179	100.0%	100.0%	100.0%
よい	51	6	57	31.1%	40.0%	31.8%
まあよい	82	7	89	50.0%	46.7%	49.7%
あまりよくない	28	0	28	17.1%	0.0%	15.6%
よくない	3	2	5	1.8%	13.3%	2.8%

16. 世帯全体の主な収入源

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	235	24	259	100.0%	100.0%	100.0%
あなたの仕事の収入	146	14	160	62.1%	58.3%	61.8%
同居している家族の収入	18	2	20	7.7%	8.3%	7.7%
財産収入	1	0	1	0.4%	0.0%	0.4%
養育費	9	1	10	3.8%	4.2%	3.9%
親族等からの援助	1	1	2	0.4%	4.2%	0.8%
公的年金	6	2	8	2.6%	8.3%	3.1%
児童扶養手当	49	4	53	20.9%	16.7%	20.5%
生活保護	1	0	1	0.4%	0.0%	0.4%
その他	4	0	4	1.7%	0.0%	1.5%

17. 本人の年間総収入（就労収入、養育費、児童手当等の手当、親からの仕送り等含む）

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	152	12	164	100.0%	100.0%	100.0%
50万円未満	12	1	13	7.9%	8.3%	7.9%
50以上100万円未満	16	1	17	10.5%	8.3%	10.4%
100以上150万円未満	25	1	26	16.5%	8.3%	15.9%
150以上200万円未満	19	1	20	12.5%	8.3%	12.2%
200以上250万円未満	33	0	33	21.7%	0.0%	20.1%
250以上300万円未満	19	0	19	12.5%	0.0%	11.6%
300以上350万円未満	9	2	11	5.9%	16.7%	6.7%
350以上400万円未満	7	1	8	4.6%	8.3%	4.9%
400以上450万円未満	5	2	7	3.3%	16.7%	4.3%
500万円以上	7	3	10	4.6%	25.0%	6.1%

17-1. 年間総収入の内訳

①親の就労収入

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	146	15	161	100.0%	100.0%	100.0%
5万円以下	5	1	6	3.4%	6.7%	3.7%
6～10万円台	14	0	14	9.6%	0.0%	8.7%
11～15万円台	53	0	53	36.3%	0.0%	32.9%
16～20万円台	31	3	34	21.2%	20.0%	21.1%
21～25万円台	25	5	30	17.1%	33.3%	18.6%
26～30万円台	9	3	12	6.2%	20.0%	7.5%
31～35万円台	5	0	5	3.4%	0.0%	3.1%
36万円以上	4	3	7	2.7%	20.0%	4.4%

②子どもの就労収入

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	10	1	11	100.0%	100.0%	100.0%
1万円以下	4	0	4	40.0%	0.0%	36.4%
2～5万円台	4	1	5	40.0%	100.0%	45.5%
6～10万円台	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
11～15万円台	2	0	2	20.0%	0.0%	18.2%
16～20万円台	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
21万円以上	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

③児童扶養手当・児童手当

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	86	8	94	100.0%	100.0%	100.0%
5千円以下	4	0	4	4.7%	0.0%	4.3%
6千～1万円台	12	2	14	14.0%	25.0%	14.9%
2～3万円台	32	4	36	37.2%	50.0%	38.3%
4～5万円台	26	2	28	30.2%	25.0%	29.8%
6～7万円台	7	0	7	8.1%	0.0%	7.4%
8万円以上	5	0	5	5.8%	0.0%	5.3%

④養育費

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	35	0	35	100.0%	0.0%	100.0%
1万円以下	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
2～5万円台	22	0	22	62.9%	0.0%	62.9%
6～10万円台	13	0	13	37.1%	0.0%	37.1%
11～15万円台	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
16～20万円台	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
21万円以上	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

⑤親からの仕送り・援助

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	9	3	12	100.0%	100.0%	100.0%
1万円以下	1	0	1	11.1%	0.0%	8.3%
2～5万円台	4	0	4	44.4%	0.0%	33.3%
6～10万円台	2	3	5	22.2%	100.0%	41.7%
11～15万円台	1	0	1	11.1%	0.0%	8.3%
16～20万円台	1	0	1	11.1%	0.0%	8.3%
21万円以上	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

⑥生活保護費

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	1	1	2	100.0%	100.0%	100.0%
5万円以下	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
6～10万円台	1	1	2	100.0%	100.0%	100.0%
11～15万円台	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
16～20万円台	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
21～25万円台	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

⑦遺族基礎年金・厚生年金

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	3	0	3	100.0%	0.0%	100.0%
5万円以下	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
6～10万円台	1	0	1	33.3%	0.0%	33.3%
11～15万円台	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
16～20万円台	1	0	1	33.3%	0.0%	33.3%
21～25万円台	1	0	1	33.3%	0.0%	33.3%

⑧子どもの奨学金

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	11	1	12	100.0%	100.0%	100.0%
5千円以下	1	0	1	9.1%	0.0%	8.3%
6千～1万円台	1	0	1	9.1%	0.0%	8.3%
2～3万円台	3	1	4	27.3%	100.0%	33.3%
4～5万円台	3	0	3	27.3%	0.0%	25.0%
6～7万円台	1	0	1	9.1%	0.0%	8.3%
8万円以上	2	0	2	18.2%	0.0%	16.7%

18. 1か月あたりの平均支出額

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	148	15	163	100.0%	100.0%	100.0%
10万円未満	45	2	47	30.4%	13.3%	28.8%
10～13万円未満	22	2	24	14.9%	13.3%	14.7%
13～16万円未満	28	1	29	18.9%	6.7%	17.8%
16～19万円未満	19	5	24	12.8%	33.3%	14.7%
19～22万円未満	17	2	19	11.5%	13.3%	11.7%
22～25万円未満	6	2	8	4.1%	13.3%	4.9%
25～28万円未満	1	0	1	0.7%	0.0%	0.6%
28～30万円未満	2	0	2	1.4%	0.0%	1.2%
30万円以上	2	0	2	1.4%	0.0%	1.2%
わからない	6	1	7	4.1%	6.7%	4.3%

19. 現在の生活状況

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	146	13	159	100.0%	100.0%	100.0%
大変苦しい	41	5	46	28.1%	38.5%	28.9%
やや苦しい	88	7	95	60.3%	53.9%	59.8%
普通	17	1	18	11.6%	7.7%	11.3%
ややゆとりがある	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
大変ゆとりがある	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

◎養育費・面会交流の状況

20. 養育費の相談先

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数（複数回答）	187	14	201	100.0%	100.0%	100.0%
親族	54	2	56	28.9%	14.3%	27.9%
知人・友人	29	1	30	15.5%	7.1%	14.9%
福井市母子父子自立支援員	4	0	4	2.1%	0.0%	2.0%
福井市のその他の相談窓口	3	0	3	1.6%	0.0%	1.5%
法テラス	11	0	11	5.9%	0.0%	5.5%
弁護士	21	1	22	11.2%	7.1%	11.0%
その他	8	0	8	4.3%	0.0%	4.0%
相談していない	57	10	67	30.5%	71.4%	33.3%
最もよく相談した相談先	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	129	10	139	100.0%	100.0%	100.0%
親族	40	0	40	31.0%	0.0%	28.8%
知人・友人	11	0	11	8.5%	0.0%	7.9%
福井市母子父子自立支援員	1	0	1	0.8%	0.0%	0.7%
福井市のその他の相談窓口	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
法テラス	3	0	3	2.3%	0.0%	2.2%
弁護士	14	0	14	10.9%	0.0%	10.1%
その他	6	10	16	4.7%	100.0%	11.5%
相談していない	54	0	54	41.9%	0.0%	38.8%

20-1. 養育費取り決めの状況

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	134	13	147	100.0%	100.0%	100.0%
取り決めたがあった （文書合意あり）	56	3	59	41.8%	23.1%	40.1%
取り決めたがあった （文書合意なし）	23	2	25	17.2%	15.4%	17.0%
取り決めたがなかった	55	8	63	41.0%	61.5%	42.9%

20-2. 養育費の受給状況

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	79	4	83	100.0%	100.0%	100.0%
現在も受けている	35	0	35	44.3%	0.0%	42.2%
受けたことがあるが、現在は受けていない	19	1	20	24.1%	25.0%	24.1%
受けたことがない	25	3	28	31.7%	75.0%	33.7%

20-3. 養育費の額

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	53	1	54	100.0%	100.0%	100.0%
決まっている	51	1	52	96.2%	100.0%	96.3%
決まっていない	2	0	2	3.8%	0.0%	3.7%
養育費の額	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	51	1	52	100.0%	100.0%	100.0%
1万円未満	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
1～2万円未満	3	0	3	5.9%	0.0%	5.8%
2～3万円未満	8	1	9	15.7%	100.0%	17.3%
3～4万円未満	15	0	15	29.4%	0.0%	28.8%
4～5万円未満	5	0	5	9.8%	0.0%	9.6%
5～6万円未満	3	0	3	5.9%	0.0%	5.8%
6～7万円未満	7	0	7	13.7%	0.0%	13.5%
7～8万円未満	7	0	7	13.7%	0.0%	13.5%
8～9万円未満	2	0	2	3.9%	0.0%	3.8%
9～10万円未満	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
10万円以上	1	0	1	2.0%	0.0%	1.9%

2.1. 養育費の取り決めをしなかった理由

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数（複数回答）	95	16	111	100.0%	100.0%	100.0%
自分の収入等で経済的に問題ないから	6	1	7	6.3%	6.3%	6.3%
取り決めの交渉がわずらわしいから	10	1	11	10.5%	6.3%	9.9%
相手に支払う意思がないと思ったから	18	6	24	19.0%	37.5%	21.6%
相手に支払う能力がないと思ったから	18	5	23	19.0%	31.3%	20.7%
相手に養育費を請求できると思わなかったから	5	2	7	5.3%	12.5%	6.3%
子どもを引き取った方が、養育費を負担するものと思っていたから	2	0	2	2.1%	0.0%	1.8%
取り決めの交渉をしたがまとまらなかったから	5	0	5	5.3%	0.0%	4.5%
現在交渉中または今後交渉予定であるから	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
相手から身体的・精神的暴力を受けたから	6	0	6	6.3%	0.0%	5.4%
相手と関わりたくないから	21	1	22	22.1%	6.3%	19.8%
その他	4	0	4	4.2%	0.0%	3.6%
最も大きな理由	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	52	5	57	100.0%	100.0%	100.0%
自分の収入等で経済的に問題ないから	4	0	4	7.7%	0.0%	7.0%
取り決めの交渉がわずらわしいから	5	0	5	9.6%	0.0%	8.8%
相手に支払う意思がないと思ったから	8	3	11	15.4%	60.0%	19.3%
相手に支払う能力がないと思ったから	10	0	10	19.2%	0.0%	17.5%
相手に養育費を請求できると思わなかったから	2	1	3	3.8%	20.0%	5.3%
子どもを引き取った方が、養育費を負担するものと思っていたから	2	0	2	3.8%	0.0%	3.5%
取り決めの交渉をしたがまとまらなかったから	5	0	5	9.6%	0.0%	8.8%
現在交渉中または今後交渉予定であるから	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
相手から身体的・精神的暴力を受けたから	1	0	1	1.9%	0.0%	1.8%
相手と関わりたくないから	13	1	14	25.0%	20.0%	24.6%
その他	2	0	2	3.8%	0.0%	3.5%

22. 面会交流の相談先

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	162	14	176	100.0%	100.0%	100.0%
親族	39	4	43	24.1%	28.6%	24.4%
知人・友人	21	0	21	13.0%	0.0%	11.9%
福井市母子父子自立支援員	3	0	3	1.9%	0.0%	1.7%
福井市のその他の相談窓口	4	0	4	2.5%	0.0%	2.3%
法テラス	6	0	6	3.7%	0.0%	3.4%
弁護士	17	1	18	10.5%	7.1%	10.2%
その他	6	0	6	3.7%	0.0%	3.4%
相談していない	66	9	75	40.7%	64.3%	42.6%
最もよく相談した相談先	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	127	13	140	100.0%	100.0%	100.0%
親族	32	3	35	25.2%	23.1%	25.0%
知人・友人	7	0	7	5.5%	0.0%	5.0%
福井市母子父子自立支援員	1	0	1	0.8%	0.0%	0.7%
福井市のその他の相談窓口	2	0	2	1.6%	0.0%	1.4%
法テラス	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
弁護士	13	1	14	10.2%	7.7%	10.0%
その他	6	0	6	4.7%	0.0%	4.3%
相談していない	66	9	75	52.0%	69.2%	53.6%

22-1. 面会交流取り決めの状況

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	129	13	142	100.0%	100.0%	100.0%
取り決めがあった （文書合意あり）	35	5	40	27.1%	38.5%	28.2%
取り決めがあった （文書合意なし）	11	3	14	8.5%	23.1%	9.9%
取り決めがなかった	83	5	88	64.3%	38.5%	62.0%

2 2-2. 面会交流の実施状況

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	47	8	55	100.0%	100.0%	100.0%
現在、面会交流を行っている	23	4	27	48.9%	50.0%	49.1%
過去に面会交流を行っていたが、現在は行っていない	12	1	13	25.5%	12.5%	23.6%
面会交流を行ったことがない	12	3	15	25.5%	37.5%	27.3%

2 2-3. 面会交流の頻度

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	34	5	39	100.0%	100.0%	100.0%
月2回以上	5	2	7	14.7%	40.0%	18.0%
月1回以上2回未満	15	0	15	44.1%	0.0%	38.5%
2～3か月に1回以上	3	1	4	8.8%	20.0%	10.3%
4～6月に1回以上	4	0	4	11.8%	0.0%	10.3%
長期休暇中	1	2	3	2.9%	40.0%	7.7%
その他	6	0	6	17.7%	0.0%	15.4%

23. 面会交流の取り決めをしなかった理由

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	101	7	108	100.0%	100.0%	100.0%
相手が養育費を支払わないから	21	0	21	20.8%	0.0%	19.4%
相手が面会の約束を守らないから	1	0	1	1.0%	0.0%	0.9%
子どもが会いたがらないから	13	2	15	12.9%	28.6%	13.9%
塾や学校の行事で子どもが忙しいから	2	1	3	2.0%	14.3%	2.8%
面会交流によって子どもが精神的又は身体的に不安定になるから	7	2	9	6.9%	28.6%	8.3%
相手に暴力などの問題行動があるから	6	1	7	5.9%	14.3%	6.5%
相手が面会交流を求めてこないから	22	1	23	21.8%	14.3%	21.3%
親族が反対しているから	3	0	3	3.0%	0.0%	2.8%
第三者による面会交流の支援を受けられないから	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
相手が結婚したから	4	0	4	4.0%	0.0%	3.7%
その他	22	0	22	21.8%	0.0%	20.4%
最も大きな理由	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	74	5	79	100.0%	100.0%	100.0%
相手が養育費を支払わないから	12	0	12	16.2%	0.0%	15.2%
相手が面会の約束を守らないから	1	0	1	1.4%	0.0%	1.3%
子どもが会いたがらないから	9	2	11	12.2%	40.0%	13.9%
塾や学校の行事で子どもが忙しいから	1	1	2	1.4%	20.0%	2.5%
面会交流によって子どもが精神的又は身体的に不安定になるから	3	1	4	4.1%	20.0%	5.1%
相手に暴力などの問題行動があるから	4	0	4	5.4%	0.0%	5.1%
相手が面会交流を求めてこないから	18	1	19	24.3%	20.0%	24.1%
親族が反対しているから	2	0	2	2.7%	0.0%	2.5%
第三者による面会交流の支援を受けられないから	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
相手が結婚したから	2	0	2	2.7%	0.0%	2.5%
その他	22	0	22	29.7%	0.0%	27.8%

◎子どもの状況

24. 子どもについての悩み

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	243	23	266	100.0%	100.0%	100.0%
しつけ	39	5	44	16.1%	21.7%	16.5%
教育・進学	84	10	94	34.6%	43.5%	35.3%
就職	18	1	19	7.4%	4.4%	7.1%
非行・交友関係	9	0	9	3.7%	0.0%	3.4%
健康	25	1	26	10.3%	4.4%	9.8%
食事・栄養	19	3	22	7.8%	13.0%	8.3%
衣服・身のまわり	7	0	7	2.9%	0.0%	2.6%
結婚問題	1	0	1	0.4%	0.0%	0.4%
その他	6	0	6	2.5%	0.0%	2.3%
特にない	35	3	38	14.4%	13.0%	14.3%
最大の悩み	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	126	15	141	100.0%	100.0%	100.0%
しつけ	15	1	16	11.9%	6.7%	11.3%
教育・進学	53	9	62	42.1%	60.0%	44.0%
就職	4	0	4	3.2%	0.0%	2.8%
非行・交友関係	2	0	2	1.6%	0.0%	1.4%
健康	9	0	9	7.1%	0.0%	6.4%
食事・栄養	2	2	4	1.6%	13.3%	2.8%
衣服・身のまわり	1	0	1	0.8%	0.0%	0.7%
結婚問題	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
その他	5	0	5	4.0%	0.0%	3.5%
特にない	35	3	38	27.8%	20.0%	27.0%

25. 子どもの将来について重視すること

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	264	29	293	100.0%	100.0%	100.0%
学力や学歴	29	5	34	11.0%	17.2%	11.6%
職業	32	5	37	12.1%	17.2%	12.6%
経済的安定	67	6	73	25.4%	20.7%	24.9%
健康状況	58	4	62	22.0%	13.8%	21.2%
仕事や趣味、社会貢献などの生きがい	38	5	43	14.4%	17.2%	14.7%
結婚や家庭生活	11	1	12	4.2%	3.5%	4.1%
友人関係	22	3	25	8.3%	10.3%	8.5%
その他	2	0	2	0.8%	0.0%	0.7%
特にない	5	0	5	1.9%	0.0%	1.7%

26. 子どもの最終進学目標

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	139	15	154	100.0%	100.0%	100.0%
中学校	3	0	3	2.2%	0.0%	2.0%
高校	34	3	37	24.5%	20.0%	24.0%
高等専門学校	6	1	7	4.3%	6.7%	4.6%
大学・大学院	65	8	73	46.8%	53.3%	47.4%
短大・専修学校・各種学校等	19	2	21	13.7%	13.3%	13.6%
その他	12	1	13	8.6%	6.7%	8.4%

27. 子どもの通塾状況

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	134	15	149	100.0%	100.0%	100.0%
民間の学習塾（家庭教師を含む）に通っている	35	2	37	26.1%	13.3%	24.8%
通わせたいが通っていない	57	4	61	42.5%	26.7%	40.9%
塾に行く必要がなく通っていない	42	9	51	31.3%	60.0%	34.2%

27-1. 学習塾に通わせたいが通わせていない理由

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数（複数回答）	70	4	74	100.0%	100.0%	100.0%
送迎が困難	21	0	21	30.0%	0.0%	28.4%
近くに学習塾（家庭教師を含む）がない	2	0	2	2.9%	0.0%	2.7%
経済的余裕がない	44	4	48	62.9%	100.0%	64.9%
その他	3	0	3	4.3%	0.0%	4.1%
最も大きな理由	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	48	4	52	100.0%	100.0%	100.0%
送迎が困難	6	0	6	12.5%	0.0%	11.5%
近くに学習塾（家庭教師を含む）がない	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
経済的余裕がない	39	4	43	81.3%	100.0%	82.7%
その他	3	0	3	6.3%	0.0%	5.8%

28. 学習支援事業の利用状況

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	128	15	143	100.0%	100.0%	100.0%
利用しているまたは利用したことがある	7	2	9	5.5%	13.3%	6.3%
知っているが利用したことがない	35	4	39	27.3%	26.7%	27.3%
制度または事業を知らない	86	9	95	67.2%	60.0%	66.4%
知っているが利用したことがない	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	27	4	31	100.0%	100.0%	100.0%
利用する必要がない	3	2	5	11.1%	50.0%	16.1%
送迎が困難	9	0	9	33.3%	0.0%	29.0%
日程や時間帯が合わない	9	2	11	33.3%	50.0%	35.5%
手続きが面倒である	1	0	1	3.7%	0.0%	3.2%
他制度や民間の学習塾（家庭教師を含む）を利用しているため	5	0	5	18.5%	0.0%	16.1%
最も大きな理由	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	25	4	29	100.0%	100.0%	100.0%
利用する必要がない	3	2	5	12.0%	50.0%	17.2%
送迎が困難	8	0	8	32.0%	0.0%	27.6%
日程や時間帯が合わない	8	2	10	32.0%	50.0%	34.5%
手続きが面倒である	1	0	1	4.0%	0.0%	3.4%
他制度や民間の学習塾（家庭教師を含む）を利用しているため	5	0	5	20.0%	0.0%	17.2%

29. 子どもの放課後の過ごし方

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	92	9	101	100.0%	100.0%	100.0%
自宅（家族が世話している）	19	3	22	20.7%	33.3%	21.8%
自宅（子どもだけで過ごしている）	29	1	30	31.5%	11.1%	29.7%
親・親戚の家	7	3	10	7.6%	33.3%	9.9%
知人・友人の家	1	0	1	1.1%	0.0%	1.0%
近所の公園など	3	1	4	3.3%	11.1%	4.0%
放課後児童クラブ（学童保育）	8	0	8	8.7%	0.0%	7.9%
児童館	6	0	6	6.5%	0.0%	5.9%
塾・習い事	3	0	3	3.3%	0.0%	3.0%
スポーツ少年団（クラブ）	3	1	4	3.3%	11.1%	4.0%
学校の部活動	11	0	11	12.0%	0.0%	10.9%
その他	2	0	2	2.2%	0.0%	2.0%

◎困っていること

30. ひとり親になった時に困ったこと

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数（複数回答）	314	30	344	100.0%	100.0%	100.0%
住居について	42	2	44	13.4%	6.7%	12.8%
仕事について	67	7	74	21.3%	23.3%	21.5%
家計について	101	8	109	32.2%	26.7%	31.7%
家事について	25	5	30	8.0%	16.7%	8.7%
自分の健康について	49	3	52	15.6%	10.0%	15.1%
親族の健康・介護について	10	2	12	3.2%	6.7%	3.5%
その他	5	0	5	1.6%	0.0%	1.5%
特にない	15	3	18	4.8%	10.0%	5.2%
最も困ったこと						
総数	125	14	139	100.0%	100.0%	100.0%
住居について	6	1	7	4.8%	7.1%	5.0%
仕事について	17	2	19	13.6%	14.3%	13.7%
家計について	70	6	76	56.0%	42.9%	54.7%
家事について	2	1	3	1.6%	7.1%	2.2%
自分の健康について	8	2	10	6.4%	14.3%	7.2%
親族の健康・介護について	4	0	4	3.2%	0.0%	2.9%
その他	3	0	3	2.4%	0.0%	2.2%
特にない	15	2	17	12.0%	14.3%	12.2%

30-1. 現在の悩み

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数（複数回答）	182	12	194	100.0%	100.0%	100.0%
住居について	13	2	15	7.1%	16.7%	7.7%
仕事について	31	0	31	17.0%	0.0%	16.0%
家計について	71	5	76	39.0%	41.7%	39.2%
家事について	13	1	14	7.1%	8.3%	7.2%
自分の健康について	28	1	29	15.4%	8.3%	15.0%
親族の健康・介護について	14	1	15	7.7%	8.3%	7.7%
その他	4	0	4	2.2%	0.0%	2.1%
特にない	8	2	10	4.4%	16.7%	5.2%
最も困ったこと						
総数	91	8	99	100.0%	100.0%	100.0%
住居について	5	1	6	5.5%	12.5%	6.1%
仕事について	11	0	11	12.1%	0.0%	11.1%
家計について	56	3	59	61.5%	37.5%	59.6%
家事について	1	1	2	1.1%	12.5%	2.0%
自分の健康について	3	1	4	3.3%	12.5%	4.0%
親族の健康・介護について	4	0	4	4.4%	0.0%	4.0%
その他	3	0	3	3.3%	0.0%	3.0%
特にない	8	2	10	8.8%	25.0%	10.1%

30-2. 将来について不安なこと

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数（複数回答）	215	14	229	100.0%	100.0%	100.0%
住居について	25	1	26	11.6%	7.1%	11.4%
仕事について	34	1	35	15.8%	7.1%	15.3%
家計について	64	2	66	29.8%	14.3%	28.8%
家事について	9	0	9	4.2%	0.0%	3.9%
自分の健康について	45	4	49	20.9%	28.6%	21.4%
親族の健康・介護について	30	5	35	14.0%	35.7%	15.3%
その他	2	0	2	0.9%	0.0%	0.9%
特にない	6	1	7	2.8%	7.1%	3.1%
最も困ったこと						
総数	89	10	99	100.0%	100.0%	100.0%
住居について	7	1	8	7.9%	10.0%	8.1%
仕事について	5	0	5	5.6%	0.0%	5.1%
家計について	46	1	47	51.7%	10.0%	47.5%
家事について	1	0	1	1.1%	0.0%	1.0%
自分の健康について	12	3	15	13.5%	30.0%	15.2%
親族の健康・介護について	11	4	15	12.4%	40.0%	15.2%
その他	1	0	1	1.1%	0.0%	1.0%
特にない	6	1	7	6.7%	10.0%	7.1%

31. 充実していて楽しいと感じるとき

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	215	14	229	100.0%	100.0%	100.0%
子どもと一緒に過ごしているとき	25	1	26	11.6%	7.1%	11.4%
ひとりの時間を過ごしているとき	34	1	35	15.8%	7.1%	15.3%
趣味やスポーツに打ち込んでいるとき	64	2	66	29.8%	14.3%	28.8%
仕事をしているとき	9	0	9	4.2%	0.0%	3.9%
子どもの成長を実感したとき	45	4	49	20.9%	28.6%	21.4%
友人と過ごしているとき	30	5	35	14.0%	35.7%	15.3%
その他	2	0	2	0.9%	0.0%	0.9%
あまり楽しいと思う時がない	6	1	7	2.8%	7.1%	3.1%

32. 困ったときの主な相談相手

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	228	16	244	100.0%	100.0%	100.0%
家族・親せき	92	7	99	40.4%	43.8%	40.6%
友人・知人	80	5	85	35.1%	31.3%	34.8%
職場の同僚、上司	30	2	32	13.2%	12.5%	13.1%
民生児童員	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
社会福祉協議会	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
子どもの学校の先生、保育士	11	0	11	4.8%	0.0%	4.5%
母子父子自立支援員	2	0	2	0.9%	0.0%	0.8%
公的機関（市役所、福祉事務所等）	2	0	2	0.9%	0.0%	0.8%
その他	2	0	2	0.9%	0.0%	0.8%
相談する人がいない	9	2	11	4.0%	12.5%	4.5%
最も相談する相談先	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	122	13	135	100.0%	100.0%	100.0%
家族・親せき	62	7	69	50.8%	53.8%	51.1%
友人・知人	41	4	45	33.6%	30.8%	33.3%
職場の同僚、上司	5	0	5	4.1%	0.0%	3.7%
民生児童員	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
社会福祉協議会	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
子どもの学校の先生、保育士	3	0	3	2.5%	0.0%	2.2%
母子父子自立支援員	1	0	1	0.8%	0.0%	0.7%
公的機関（市役所、福祉事務所等）	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
その他	2	0	2	1.6%	0.0%	1.5%
相談する人がいない	8	2	10	6.6%	15.4%	7.4%

33. 近所づきあいの程度

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	132	13	145	100.0%	100.0%	100.0%
お互いに家を行き来している	5	0	5	3.8%	0.0%	3.5%
日常的に立ち話をしている	24	3	27	18.2%	23.1%	18.6%
立ち話はしないが、会えばあいさつはしている	72	10	82	54.6%	76.9%	56.6%
つきあいはない	31	0	31	23.5%	0.0%	21.4%

◎公的制度の認知・利用状況

34. 福祉関係の公的制度の認知・利用状況

①助成／給付／貸付制度

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
◎児童手当・児童扶養手当	132	14	146	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	132	14	146	100.0%	100.0%	100.0%
知らない	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
◎子どもの医療費助成	130	14	144	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	129	13	142	99.2%	92.9%	98.6%
知らない	1	1	2	0.8%	7.1%	1.4%
◎母子家庭等医療費助成	131	14	145	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	123	10	133	93.9%	71.4%	91.7%
知らない	8	4	12	6.1%	28.6%	8.3%
◎自立支援教育訓練給付金	132	14	146	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	42	5	47	31.8%	35.7%	32.2%
知らない	90	9	99	68.2%	64.3%	67.8%
利用状況	42	3	45	100.0%	100.0%	100.0%
利用した	4	0	4	9.5%	0.0%	8.9%
利用したい	6	0	6	14.3%	0.0%	13.3%
利用しない	32	3	35	76.2%	100.0%	77.8%
◎高等職業訓練促進給付金	130	14	144	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	30	4	34	23.1%	28.6%	23.6%
知らない	100	10	110	76.9%	71.4%	76.4%
利用状況	42	3	45	100.0%	100.0%	100.0%
利用した	2	0	2	4.8%	0.0%	4.4%
利用したい	7	0	7	16.7%	0.0%	15.6%
利用しない	33	3	36	78.6%	100.0%	80.0%
◎高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	129	14	143	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	20	2	22	15.5%	14.3%	15.4%
知らない	109	12	121	84.5%	85.7%	84.6%
利用状況	40	2	42	100.0%	100.0%	100.0%
利用した	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
利用したい	7	1	8	17.5%	50.0%	19.1%
利用しない	33	1	34	82.5%	50.0%	81.0%

①助成／給付／貸付制度

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
◎母子父子寡婦福祉資金貸付金	129	14	143	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	33	3	36	25.6%	21.4%	25.2%
知らない	96	11	107	74.4%	78.6%	74.8%
利用状況	45	2	47	100.0%	100.0%	100.0%
利用した	2	0	2	4.4%	0.0%	4.3%
利用したい	9	0	9	20.0%	0.0%	19.2%
利用しない	34	2	36	75.6%	100.0%	76.6%

②支援制度等

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
◎母子家庭等日常生活支援	131	14	145	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	22	2	24	16.8%	14.3%	16.6%
知らない	109	12	121	83.2%	85.7%	83.5%
利用状況	40	2	42	100.0%	100.0%	100.0%
利用した	1	1	2	2.5%	50.0%	4.8%
利用したい	4	0	4	10.0%	0.0%	9.5%
利用しない	35	1	36	87.5%	50.0%	85.7%
◎子育て支援短期利用事業（ショートステイ、トワイライトステイ）	131	14	145	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	20	3	23	15.3%	21.4%	15.9%
知らない	111	11	122	84.7%	78.6%	84.1%
利用状況	39	3	42	97.5%	150.0%	100.0%
利用した	2	0	2	5.0%	0.0%	4.8%
利用したい	3	0	3	7.5%	0.0%	7.1%
利用しない	34	3	37	85.0%	150.0%	88.1%
◎病児保育事業	130	14	144	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	65	3	68	50.0%	21.4%	47.2%
知らない	65	11	76	50.0%	78.6%	52.8%
利用状況	51	3	54	100.0%	100.0%	100.0%
利用した	14	1	15	27.5%	33.3%	27.8%
利用したい	5	0	5	9.8%	0.0%	9.3%
利用しない	32	2	34	62.8%	66.7%	63.0%

②支援制度等

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
◎すみずみ子育てサポート	128	14	142	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	20	1	21	15.3%	7.1%	14.5%
知らない	108	13	121	82.4%	92.9%	83.5%
利用状況	40	2	42	100.0%	100.0%	100.0%
利用した	2	0	2	5.0%	0.0%	4.8%
利用したい	5	0	5	12.5%	0.0%	11.9%
利用しない	33	2	35	82.5%	100.0%	83.3%
◎子供の未来応援国民運動ホームページ	130	14	144	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	7	0	7	5.4%	0.0%	4.9%
知らない	123	14	137	94.6%	100.0%	95.1%
利用状況	38	1	39	100.0%	100.0%	100.0%
利用した	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
利用したい	3	0	3	7.9%	0.0%	7.7%
利用しない	35	1	36	92.1%	100.0%	92.3%

③福井市ひとり親家庭就業・自立支援センター事業

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
◎就業相談	129	14	143	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	46	2	48	35.7%	14.3%	33.6%
知らない	83	12	95	64.3%	85.7%	66.4%
利用状況	49	3	52	100.0%	100.0%	100.0%
利用した	2	0	2	4.1%	0.0%	3.9%
利用したい	4	0	4	8.2%	0.0%	7.7%
利用しない	43	3	46	87.8%	100.0%	88.5%
◎養育費相談	128	14	142	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	27	1	28	21.1%	7.1%	19.7%
知らない	101	13	114	78.9%	92.9%	80.3%
利用状況	45	2	47	100.0%	100.0%	100.0%
利用した	2	0	2	4.4%	0.0%	4.3%
利用したい	7	0	7	15.6%	0.0%	14.9%
利用しない	36	2	38	80.0%	100.0%	80.9%

③福井市ひとり親家庭就業・自立支援センター事業

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
◎法律相談	127	14	141	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	34	1	35	26.8%	7.1%	24.8%
知らない	93	13	106	73.2%	92.9%	75.2%
利用状況	45	2	47	100.0%	100.0%	100.0%
利用した	4	0	4	8.9%	0.0%	8.5%
利用したい	4	0	4	8.9%	0.0%	8.5%
利用しない	37	2	39	82.2%	100.0%	83.0%
◎その他の相談	120	13	133	100.0%	100.0%	100.0%
知っている	21	0	21	17.5%	0.0%	15.8%
知らない	99	13	112	82.5%	100.0%	84.2%
利用状況	41	3	44	100.0%	100.0%	100.0%
利用した	1	0	1	2.4%	0.0%	2.3%
利用したい	3	1	4	7.3%	33.3%	9.1%
利用しない	37	2	39	90.2%	66.7%	88.6%

34-1. 支援制度の情報の入手方法

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	137	16	153	100.0%	100.0%	100.0%
市役所の窓口	58	6	64	42.3%	37.5%	41.8%
福祉団体	4	0	4	2.9%	0.0%	2.6%
母子父子自立支援員	2	0	2	1.5%	0.0%	1.3%
民生児童委員	2	0	2	1.5%	0.0%	1.3%
母子家庭等就業・自立支援センターのパンフレット	20	0	20	14.6%	0.0%	13.1%
広報誌	8	1	9	5.8%	6.3%	5.9%
インターネット	30	5	35	21.9%	31.3%	22.9%
新聞・テレビ	2	2	4	1.5%	12.5%	2.6%
その他	11	2	13	8.0%	12.5%	8.5%

35. 充実が望まれる施策

	実数（有効回答数）			構成比・割合		
	母子	父子	小計	母子	父子	小計
総数	278	40	318	100.0%	100.0%	100.0%
職業訓練の場や就業機会の提供	14	1	15	5.0%	2.5%	4.7%
養育費の確保対策の充実	25	3	28	9.0%	7.5%	8.8%
児童扶養手当等経済的支援の充実	73	8	81	26.3%	20.0%	25.5%
公営住宅の優先入居	23	3	26	8.3%	7.5%	8.2%
家事等の日常生活支援の充実	11	2	13	4.0%	5.0%	4.1%
企業における子育てしやすい労働環境作り	17	2	19	6.1%	5.0%	6.0%
保育サービスや放課後児童クラブの充実	19	0	19	6.8%	0.0%	6.0%
技能、資格等を取得するための講習会の充実	14	4	18	5.0%	10.0%	5.7%
支援制度や事業についての広報拡充	6	3	9	2.2%	7.5%	2.8%
生活上の不安や悩みの相談窓口の充実	16	1	17	5.8%	2.5%	5.4%
子どもに対する教育支援の充実	39	6	45	14.0%	15.0%	14.2%
母子父子寡婦福祉資金貸付金制度の充実	19	6	25	6.8%	15.0%	7.9%
母子・父子福祉団体の活動強化	2	1	3	0.7%	2.5%	0.9%
その他	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

1. あなたご自身やご家族のことについておたずねします

問1. あなたの世帯区分はどれですか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 母子家庭	2. 父子家庭
---------	---------

問2. あなたの現在の年齢はいくつですか。あてはまるものに○をつけてください。

現在の年齢 (令和元年8月1日現在)	1. 10代	4. 31～35歳	7. 46～50歳
	2. 20～25歳	5. 36～40歳	8. 51歳以上
	3. 26～30歳	6. 41～45歳	

問3. 現在、あなたと一緒に住んでいるご家族とその人数は何人ですか。あてはまる番号を選んで () に人数を記入してください。

1. 子ども	() 人	4. あなたの祖父母	() 人
2. あなたの父母	() 人	5. その他 (具体的に)	() 人
3. あなたの兄弟姉妹	() 人		() 人

また、現在の20歳未満のお子さんについて、あてはまるところに人数を記入してください。

	未就学児	小学生	中学生	高校生 高等専門学校	専修大学	短大 大学	就労	その他
18歳未満	人	人	人	人	人	人	人	人
18歳以上 20歳未満	/	/	/	人	人	人	人	人

問4. ひとり親家庭になった理由について、あてはまるものに○をつけてください。

1. 離婚 (協議離婚 ・ 調停離婚 ・ 審判離婚 ・ 裁判離婚)	2. 死別	3. 未婚	4. 遺棄 ※	5. 行方不明	6. その他 ()
-------------------------------------	-------	-------	---------	---------	------------

※ 「遺棄(いき)」・・・配偶者を見捨てること

問5. あなたがひとり親家庭になったのは何歳の時ですか。

あてはまるものに○をつけてください。

ひとり親家庭に なった時の年齢	1. 10代	4. 31～35歳	7. 46～50歳
	2. 20～25歳	5. 36～40歳	8. 51歳以上
	3. 26～30歳	6. 41～45歳	

また、その時の20歳未満のお子さんについて、あてはまるところに人数を記入してください。

	未就学児	小学生	中学生	高校生 高等専門学校	専修大学	短大 大学	就労	その他
20歳未満	人	人	人	人	人	人	人	人

問6. あなたの現在のお住まいについて、あてはまるものに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|----------|--------------------------------|
| 1. 持ち家（本人名義） | 3. 社宅・公舎 | 5. 同居（実家等） |
| 2. 市営・県営住宅 | 4. 借家・賃貸 | 6. その他（ ） |

2. 仕事等についておたずねします

問7. ひとり親家庭になる直前は、どのような仕事をしていましたか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|------------|--------------------------|
| 1. 正社員・正規職員 | 4. 会社の役員など | 7. その他 |
| 2. パート・アルバイト等 | 5. 自営業 | （ ） |
| 3. 労働派遣会社の派遣社員 | 6. 家族従事者 | 8. 就労していない ⇒ 問8へ |

7-1. ひとり親家庭になる前に仕事をしていた方におたずねします。

ひとり親家庭になったことをきっかけとして転職しましたか。

- | |
|------------------|
| 1. 転職した |
| 2. 転職していない ⇒ 問8へ |

7-2. 「1 転職した」と答えた方におたずねします。

転職した理由のうち、あてはまるものすべてに○をつけ、その中で最も大きな理由の番号を右に記入してください。

↓（あてはまるものすべての番号に○）

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 収入がよくない |
| <input type="checkbox"/> | 2. 勤め先が自宅から遠い |
| <input type="checkbox"/> | 3. 健康がすぐれない |
| <input type="checkbox"/> | 4. 仕事の内容がよくない |
| <input type="checkbox"/> | 5. 職場環境になじめない |
| <input type="checkbox"/> | 6. 労働時間があわない |
| <input type="checkbox"/> | 7. 社会保険がない又は不十分 |
| <input type="checkbox"/> | 8. 休みが少ない |
| <input type="checkbox"/> | 9. 身分が安定していない |
| <input type="checkbox"/> | 10. 経験や能力が発揮できない |
| <input type="checkbox"/> | 11. 自営業等であったが離婚したため |
| <input type="checkbox"/> | 12. その他（ ） |

○のうち
最も大きな理由の
番号を下記に記入

↓

問8. 現在のあなたの仕事について、あてはまるもの1つに○をつけてください

- | | | |
|----------------|------------|--------------------------|
| 1. 正社員・正規職員 | 4. 会社の役員など | 7. その他 |
| 2. パート・アルバイト等 | 5. 自営業 | （ ） |
| 3. 労働派遣会社の派遣社員 | 6. 家族従事者 | 8. 就労していない ⇒ 問9へ |

8-1. 現在のあなたの仕事にあてはまるもの1つに○をつけてください

1. 専門・技術職 (教員、看護師、保育士、技術者など)	7. 生産工程の仕事 (食料品、衣服、繊維製品製造など)
2. 管理職 (企業、団体の課長・部長など)	8. 輸送・機械運転の仕事 (電車・バス等の運転手、車掌など)
3. 事務職 (一般事務、経理事務、医療事務など)	9. 建設・採掘の仕事 (大工、左官、電気工事など)
4. 営業・販売職 (店主、店員、セールス、保険外交員など)	10. 運搬・清掃の仕事 (配達員、清掃員など)
5. 農林・漁業の仕事	11. サービス職 (理・美容師、介護職、家政婦など)
6. 保安職 (自衛官、警察官、守衛など)	12. その他 (在宅就業者、個人事業主など)

8-2. 現在の仕事の勤務時間帯はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。
また、1週間あたりの平均就業時間としてあてはまるものに○をつけてください。

勤務時間帯	1. 早朝(朝5時～8時頃)	5. 夕方～夜(17時～22時頃)
	2. 午前(8時～12時頃)	6. 深夜(22時～翌日5時頃)
	3. 午後(12時～17時頃)	7. 終日勤務(24時間体制)
	4. 日中(8時～17時頃)	8. 交代勤務等で変動
平均就業時間	1. 10時間以下	5. 31～40時間
	2. 11～20時間	6. 41～50時間
	3. 21～30時間	7. 51時間以上

8-3. 現在、転職する希望はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

8-4. 仕事をする上で、どのような点を重視しますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 身分が安定している	8. 年金、雇用保険に入れる
2. 休暇が取りやすい	9. 通勤時間が短い
3. 十分な収入が得られる	10. 経験や能力が発揮できる
4. 育児の時間が確保できる	11. 家事への負担が軽減される
5. 土日に休める	12. 残業が少ない
6. 就業時間に融通が利く	13. その他()
7. 在宅できる	

問9. 現在、不就業の方(問8で「8就労していない」と答えた方)におたずねします。
今後、就職する希望はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 今すぐ働きたい
2. 今は働けないがそのうち働きたい
3. 就職は考えていない

問10. 現在就労していない理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 仕事の探し方がわからない | 5. 年齢により制限される |
| 2. 働ける健康状態ではない | 6. 最終学歴により制限される |
| 3. 収入面で条件の合う仕事がない | 7. その他 () |
| 4. 時間について条件の合う仕事がない | |

問11. どのような状況になれば、働けるとお思いますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 子どもが保育園等に入れたら | 4. 学校や職業訓練が終了したら |
| 2. 子どもの問題（健康など）が解決したら | 5. 仕事に必要な資格や技能が身についたら |
| 3. 自分の問題（健康など）が解決したら | 6. その他 () |

問12. あなたの最終学歴で、あてはまるもの1つに○をつけてください

- | | | |
|-----------|----------------|------------|
| 1. 中学校卒業 | 3. 短期大学、専門学校卒業 | 5. その他 () |
| 2. 高等学校卒業 | 4. 大学卒業 | |

問13. 何か資格を持っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 持っている | 2. 持っていない |
|----------|-----------|

13-1. 資格を持っている方におたずねします。資格の種類はどれですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------|------------------|---------------------------------------|
| 1. 看護師 | 9. 歯科衛生士 | 17. 日商簿記 |
| 2. 保育士 | 10. 美容師 | 18. 警護職員初任者研修 |
| 3. 理学療法士 | 11. 柔道整復師 | 19. 医療事務 |
| 4. 作業療法士 | 12. 栄養士 | 20. ケアマネージャー |
| 5. 介護福祉士 | 13. 管理栄養士 | 21. 情報処理に関する認定
(マイクロオフィススペシャリストなど) |
| 6. 准看護師 | 14. 言語聴覚士 | 22. その他 () |
| 7. 調理師 | 15. はり師・きゅう師 | |
| 8. 理容師 | 16. 高等学校卒業程度認定資格 | |

問14. 今後取得したい資格はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------|------------------|---------------------------------------|
| 1. 看護師 | 9. 歯科衛生士 | 17. 日商簿記 |
| 2. 保育士 | 10. 美容師 | 18. 警護職員初任者研修 |
| 3. 理学療法士 | 11. 柔道整復師 | 19. 医療事務 |
| 4. 作業療法士 | 12. 栄養士 | 20. ケアマネージャー |
| 5. 介護福祉士 | 13. 管理栄養士 | 21. 情報処理に関する認定
(マイクロオフィススペシャリストなど) |
| 6. 准看護師 | 14. 言語聴覚士 | 22. その他 () |
| 7. 調理師 | 15. はり師・きゅう師 | |
| 8. 理容師 | 16. 高等学校卒業程度認定試験 | 23. 特に希望なし |

14-1. 資格取得に際して悩み等がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|------------|------------|------------|
| 1. 費用の不足 | 3. 収入が減る | 5. 職場の理解 | 7. 基礎知識・学歴 |
| 2. 時間の不足 | 4. 子どもの預け先 | 6. 情報の入手方法 | 8. 特になし |

3. 現在の生活状況についておたずねします

問15. あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|---------|------------|---------|
| 1. よい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|-------|---------|------------|---------|

問16. あなたの世帯の主な収入源は何ですか。あてはまるもの2つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-------------|------------|
| 1. あなたの仕事の収入 | 4. 養育費 | 7. 児童扶養手当 |
| 2. 同居している家族の収入 | 5. 親族等からの援助 | 8. 生活保護 |
| 3. 財産収入 | 6. 公的年金 | 9. その他 () |

問17. あなたの世帯の平成30年の年間総収入^{*}はいくらですか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

^{*} 年間総収入には、全ての収入（就労収入、生活保護法に基づく給付、児童扶養手当等の手当、別れた配偶者からの養育費、親からの仕送り等）を含んでください。

- | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 50万円未満 | 5. 200万円以上250万円未満 | 9. 400万円以上500万円未満 |
| 2. 50万円以上100万円未満 | 6. 250万円以上300万円未満 | 10. 500万円以上 |
| 3. 100万円以上150万円未満 | 7. 300万円以上350万円未満 | |
| 4. 150万円以上200万円未満 | 8. 350万円以上400万円未満 | |

17-1. 年間総収入の内訳を1か月平均とした場合はいくらですか。

それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

① あなたの就労収入 あり・なし

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 5万円以下 | 3. 11～15万円台 | 5. 21～25万円台 | 7. 31～35万円台 |
| 2. 6～10万円台 | 4. 16～20万円台 | 6. 26～30万円台 | 8. 36万円以上 |

② 子どもの就労収入からの援助 あり・なし

- | | | |
|-----------|-------------|-------------|
| 1. 1万円以下 | 3. 6～10万円台 | 5. 16～20万円台 |
| 2. 2～5万円台 | 4. 11～15万円台 | 6. 21万円以上 |

③ 児童扶養手当・児童手当 あり・なし

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1. 5千円以下 | 3. 2～3万円台 | 5. 6～7万円台 |
| 2. 6千～1万円台 | 4. 4～5万円台 | 6. 8万円以上 |

④ 養育費 あり・なし

- | | | |
|-----------|-------------|-------------|
| 1. 1万円以下 | 3. 6～10万円台 | 5. 16～20万円台 |
| 2. 2～5万円台 | 4. 11～15万円台 | 6. 21万円以上 |

⑤ 親からの仕送り・援助 あり・なし

- | | | |
|-----------|-------------|-------------|
| 1. 1万円以下 | 3. 6～10万円台 | 5. 16～20万円台 |
| 2. 2～5万円台 | 4. 11～15万円台 | 6. 21万円以上 |

⑥ 生活保護費 あり・なし

1. 5万円以下	3. 11～15万円台	5. 21～25万円台
2. 6～10万円台	4. 16～20万円台	

⑦ 遺族基礎年金・厚生年金 あり・なし

1. 5万円以下	3. 11～15万円台	5. 21～25万円台
2. 6～10万円台	4. 16～20万円台	

⑧ 子どもの奨学金 あり・なし

1. 5千円以下	3. 2～3万円台	5. 6～7万円台
2. 6千～1万円台	4. 4～5万円台	6. 8万円以上

⑨ その他 あり・なし

項目名 ()	: 金額	円
---------	------	---

問18. 1か月の平均的な支出額（家賃、ローン、生活費、学費など）はいくらですか。
あてはまるものに○をつけてください。

1. 10万円未満	5. 19～22万円未満	9. 30万円以上
2. 10～13万円未満	6. 22～25万円未満	10. わからない
3. 13～16万円未満	7. 25～28万円未満	
4. 16～19万円未満	8. 28～30万円未満	

問19. 現在の生活状況についてあてはまるものに○をつけてください。

1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ややゆとりがある	4. 大変ゆとりがある
----------	----------	-------------	-------------

4. 養育費・面会交流についておたずねします

※離婚や未婚での出産などで、ひとり親になった方におたずねします。

⇒該当しない方は、『5. 子どもの状況についておたずねします』へ進んでください。

問20. 離婚の際またはその後に、子どもの養育費のことで誰か（どこか）に相談しましたか。
あてはまるものすべてに○をつけ、その中で最もよく相談した相談先の番号を右に記入してください。

↓（あてはまるものすべての番号に○）

<input type="checkbox"/>	1. 親族
<input type="checkbox"/>	2. 知人・友人
<input type="checkbox"/>	3. 福井市母子父子自立支援員
<input type="checkbox"/>	4. 福井市のその他の相談窓口
<input type="checkbox"/>	5. 法テラス
<input type="checkbox"/>	6. 弁護士
<input type="checkbox"/>	7. その他 ()
<input type="checkbox"/>	8. 相談していない

○のうち
最もよく相談した相談先の
番号を下記に記入
↓

問23. 面会交流に関する取り決めのなかった人におたずねします。

面会交流の取り決めをしなかった理由について、あてはまるものすべてに○をつけ、
 その中で最も大きな理由の番号を右に記入してください。

↓ (あてはまるものすべての番号に○)

<input type="checkbox"/>	1. 相手が養育費を支払わないから
<input type="checkbox"/>	2. 相手が面会交流の約束を守らないから
<input type="checkbox"/>	3. 子どもが会いたがらないから
<input type="checkbox"/>	4. 塾や学校行事で子どもが忙しいから
<input type="checkbox"/>	5. 面会交流によって子どもが精神的又は肉体的に不安定になるから
<input type="checkbox"/>	6. 相手に暴力などの問題行動があるから
<input type="checkbox"/>	7. 相手が面会交流を求めてこないから
<input type="checkbox"/>	8. 親族が反対しているから
<input type="checkbox"/>	9. 第三者による面会交流の支援を受けられないから
<input type="checkbox"/>	10. 相手が結婚したから
<input type="checkbox"/>	11. その他 ()

○のうち
 最も大きな理由の番号を
 下記に記入
 ↓


5. 子どもの状況についておたずねします

問24. あなたのお子さんについて、現在どのようなことで悩みをお持ちですか。

あてはまるものすべてに○をつけ、その中で最も大きな理由の番号を右に
 記入してください。

↓ (あてはまるものすべてに○)

<input type="checkbox"/>	1. しつけ	<input type="checkbox"/>	6. 食事・栄養
<input type="checkbox"/>	2. 教育・進学	<input type="checkbox"/>	7. 衣服・身のまわり
<input type="checkbox"/>	3. 就職	<input type="checkbox"/>	8. 結婚問題
<input type="checkbox"/>	4. 非行・交友関係	<input type="checkbox"/>	9. その他 ()
<input type="checkbox"/>	5. 健康	<input type="checkbox"/>	10. 特にない

○のうち
 最も大きな理由の
 番号を下記に記入


問25. あなたのお子さんの将来を考えた時に重視することは何ですか。

あてはまるもの2つまでに○をつけてください。

1. 学力や学歴	4. 健康状況	7. 友人関係
2. 職業	5. 仕事や趣味、社会貢献などの生きがい	8. その他 ()
3. 経済的安定	6. 結婚や家庭生活	9. 特にない

問26. あなたのお子さんの進学はどこまでを考えていますか。

あてはまるものに○をつけてください。

1. 中学校	3. 高等専門学校	5. 短大・専修学校・各種学校等
2. 高校	4. 大学・大学院	6. その他 ()

問27. あなたのお子さんは学習塾（家庭教師を含む）に通っていますか。
 あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 民間の学習塾（家庭教師を含む）に通っている | 3. 塾に行く必要がなく通っていない |
| 2. 通わせたいが通っていない | |

27-1. 問27で「2通わせたいが通っていない」と答えた方におたずねします

学習塾に通わない理由について、あてはまるものすべてに○をつけ、その中で最も大きな理由の番号を右に記入してください。

↓（あてはまるものすべてに○）

<input type="checkbox"/>	1. 送迎が困難
<input type="checkbox"/>	2. 近くに学習塾（家庭教師含む）がない
<input type="checkbox"/>	3. 経済的に余裕がない
<input type="checkbox"/>	4. その他（

○のうち最も大きな理由の番号を下記に記入

↓

問28. 母子家庭・父子家庭の方におたずねします。

学生ボランティア等による、小中学生を対象にした無料の学習支援事業（学習や宿題の手伝いなど）を、利用したことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。また、「2知っているが利用したことがない」場合は、あてはまるものすべてに○をつけ、その中で最も大きな理由のカタカナを右に記入してください。

1. 利用しているまたは利用したことがある	
2. 知っているが利用したことがない	イ. 利用する必要がある
	ロ. 送迎が困難
	ハ. 日程や時間帯が合わない
	ニ. 手続きが面倒である
ホ. 他制度や民間の学習塾（家庭教師を含む）を利用しているため	
3. 制度または事業を知らない	

○のうち最も大きな理由のカタカナを下記に記入

↓

問29. 小学生もしくは中学生のお子さんがある方におたずねします

お子さんの放課後の過ごし方について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 自宅（家族が世話している） | 7. 児童館 |
| 2. 自宅（子どもだけで過ごしている） | 8. 塾・習い事 |
| 3. 親・親戚の家 | 9. スポーツ少年団（クラブ） |
| 4. 知人・友人の家 | 10. 学校の部活 |
| 5. 近所の公園など | 11. その他（ |
| 6. 放課後児童クラブ（学童保育） | ） |

6. 困っていることについておたずねします

問30. ひとり親になったときに困ったことはありましたか。下記の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。その中で最も困ったことの番号を右に記入してください。

↓ (あてはまるものすべてに○)

<input type="checkbox"/>	1. 住居について	<input type="checkbox"/>	5. 自分の健康について
<input type="checkbox"/>	2. 仕事について	<input type="checkbox"/>	6. 親族の健康・介護について
<input type="checkbox"/>	3. 家計について	<input type="checkbox"/>	7. その他 ()
<input type="checkbox"/>	4. 家事について	<input type="checkbox"/>	8. 特になし

○のうち最も困ったことの番号を記入

↳

30-1. 問30の選択肢の中で、現在困っていることはありますか。

あてはまる番号をすべて記入し、最も困っていることの番号を右に記入してください。

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

最も困っていることの番号を記入 →

30-2. 問30の選択肢の中で、将来についてどのようなことに不安がありますか。

あてはまる番号をすべて記入し、最も困っていることの番号を右に記入してください。

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

最も不安なことの番号を記入 →

問31. 充実していて楽しいと感じるのはどのような時ですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 子どもと一緒に過ごしているとき	5. 子どもの成長を実感したとき
2. ひとりの時間を過ごしているとき	6. 友人と過ごしているとき
3. 趣味やスポーツに打ち込んでいるとき	7. その他 ()
4. 仕事をしているとき	8. あまり楽しいと思う時がない

問32. 困ったときの主な相談相手はだれですか。

あてはまるものすべてに○をつけ、その中で最もよく相談している相談先の番号を右に記入してください。

↓ (あてはまるものすべてに○)

<input type="checkbox"/>	1. 家族・親戚	<input type="checkbox"/>	6. 子どもの学校の先生、保育士
<input type="checkbox"/>	2. 友人・知人	<input type="checkbox"/>	7. 母子父子自立支援員
<input type="checkbox"/>	3. 職場の同僚、上司	<input type="checkbox"/>	8. 公的機関(市役所、福祉事務所等)
<input type="checkbox"/>	4. 民生児童員	<input type="checkbox"/>	9. その他 ()
<input type="checkbox"/>	5. 社会福祉協議会	<input type="checkbox"/>	10. 相談する人がいない

○のうち最もよく相談している相談先

↳

問33. あなたはご近所の方とどのように交流されていますか。

あてはまるものに○をつけてください。

1. お互いに家の行き来をしている	3. 話はしないが、会えばあいさつはしている
2. 日常的に立ち話をしている	4. つきあいはない

7. 福祉関係の公的制度についておたずねします

問34. あなたは次のサービスを知っていますか。また、利用状況を教えてください。

それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

① 助成／給付／貸付制度

サービス	認知状況		利用状況		
	知っている	知らない	利用した	利用したい	利用しない
児童手当・児童扶養手当	1	2	—	—	—
子どもの医療費助成	1	2	—	—	—
ひとり親家庭医療費助成	1	2	—	—	—
自立支援教育訓練給付金	1	2	1	2	3
高等職業訓練促進給付金	1	2	1	2	3
高等学校卒業程度認定試験 合格支援事業	1	2	1	2	3
母子父子寡婦福祉資金貸付金	1	2	1	2	3

② 支援制度等

	知っている	知らない	利用した	利用したい	利用しない
母子家庭等日常生活支援事業	1	2	1	2	3
子育て支援短期利用事業 (ショートステイ、トイレットステイ)	1	2	1	2	3
病児保育事業	1	2	1	2	3
すみずみ子育てサポート事業	1	2	1	2	3
子供の未来応援国民運動 ホームページ	1	2	1	2	3

③ 福井市ひとり親家庭就業・自立支援センター事業

	知っている	知らない	利用した	利用したい	利用しない
就業相談	1	2	1	2	3
養育費相談	1	2	1	2	3
法律相談	1	2	1	2	3
その他の相談	1	2	1	2	3

